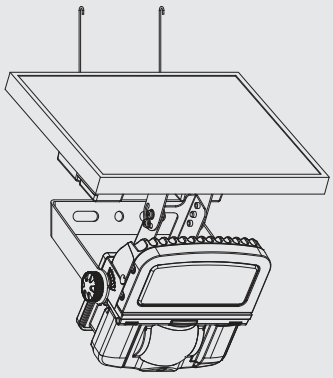
LC-1000SOLシリーズ 取扱説明書(保証書付)



LC-1000SC90DSOL
LC-1000SC90DCSOL(BL)(寒冷地仕様)
LC-1000SWDCSOL(BL)(寒冷地仕様)

・この度はLC-1000SC90DSOL、LC-1000SC90DCSOL(BL)、LC-1000SWDCSOL(BL)をお買い上げいただきましてありがとうございます。
・お取付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
・この取扱説明書をお読みになった後はいつでも見られるところに大切に保管してください。
なお、取扱説明書や注意書きが十分に理解できない場合は、弊社までお問い合わせください。
・本製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故などによる損害について、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。
This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

特 長 1
安全にお使いいただくために 2,3
1.お使いになる前に 4,5
人感センサ(パッシブインフラレッド方式)の検知原理とご使用にあたって 4
ソーラーユニットの昼夜判別センサについて 4
各部の名称と付属品 5
2．取付 ..... 6～20
取付方法の確認 6
施工手順 6
設置前の充電について 7
設置後の充電について 7
機能設定(本体) ..... 8、9
機能設定(ソーラーユニット) 9
ソーラーユニットを本体と一体で設置する場合 ..... 10～13
・本体の取付方法 10
・ソーラーユニットの組み付け、および配線 ..... 10、11
・壁や平らな柱などに取り付ける場合 12
・ポールに取り付ける場合 13
ソーラーユニットを本体と分離して設置する場合 ..... 14～16
・接続ケーブルの延長 14
・ソーラーユニットの設置について 15
・壁や平らな柱、床面などに取り付ける場合 16
・ポールに取り付ける場合 16
本体の取付角度調整 ..... 16～19
・LEDライトの設定 ..... 16、17
・検知エリアの設定 18
・検知エリア図 19
・人感センサ用検知エリアマスキングプレートによるエリア設定 19
動作テスト 20
3．メンテナンス ..... 21～23
ソーラーユニットについて 21
ソーラーユニットのバッテリーボックスの交換 ..... 22、23
4．「おかしいな・・・」と思ったら 24
動作表示灯(赤色LED)とLEDライトの見かた 24
思ったように動作しないときは 24
仕様 25
外形寸法図・取り付け例 ..... 26～27
保証書 28

特　長

本製品は、駐車場をはじめとする屋外施設や、給電できない場所、災害用途としてもお使い頂けるソーラー式のLEDライトです。給電が出来ない場所でも、「必要なときに必要なあかり」を提供します。

●最大器具光束は1000lm。

●検知エリアは抜けの少ない15m×15mのスクエアエリア。

●取付高さは2.5m～4.5mに対応。

●LEDライトと人感センサの一体型のボディーと分離可能なソーラーユニットにより、高所作業でも簡単に設置が可能。

●10Wソーラーパネル、大容量長寿命リチウムイオン充電池の採用、人感センサの内蔵で、長時間の点灯動作が可能。

●-20℃の低温下でも利用可能なチタン酸リチウムイオン充電池を採用。(寒冷地仕様のみ)

Li-ion00

本製品はリチウムイオン充電池を内蔵しています。
バッテリーの品質を維持する為、下記内容を必ずお守りください。

注意

●設置工事までの保管の際には、ソーラーユニットの端子部カバー内にある電源スイッチをOFFにした状態（製品出荷状態）で保管してください。
●バッテリーは保管中でも寿命・性能が低下しますので、製品ご購入後は速やかに設置してください。
長期間（半年以上）保管する場合は、２５℃以下になる場所で保存し、1年以上の保存はおやめください。
保管は常温で湿気の少ないところ、雨露・直射日光を受けないところで保管してください。
●バッテリーが空状態での保管は避けてください。バッテリーが劣化する可能性があります。
●バッテリーは出荷前に若干量充電しておりますので、LEDライトの点灯動作確認等にお使いください。
LEDライトの点灯動作の確認ができない場合や、ご購入後初めて使用される場合は、必ず太陽光による10時間以上の充電をしてください。充電方法は７ページ「設置前の充電について」を参照してください。

安全にお使いいただくために

■絵表示について

この取扱説明書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解のうえ本書をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが大きい内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷することや財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

■絵表示の例

⃠記号は禁止を示しています。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。

⚠ 危険

高温での使用禁止	ストーブ等の熱源や、火のそば、炎天下駐車の車の中などで放置、使用しないでください。 高温になると、製品の危険を防止する保護機構が働き充電できなくなったり、保護機構が破損し異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
ソーラーユニットを本製品以外に使用しない	ソーラーユニットは本製品専用です。本製品以外の用途に使用しますと機器によっては、異常な電流が流れてバッテリーが破損し、発熱、破裂、発火の原因になります。 また、ソーラーユニットに内蔵されているバッテリーも本製品専用です。他のバッテリーは使用できません。他のバッテリーを使用しますと、発熱、破損、発火、火災、感電の原因となります。
製品の使用方法は必ず守る	本製品を使用される際は、つぎのことを必ず守ってください。 ・周囲温度指定温度以上では使用しないでください。故障、発熱、発火、感電の原因となります。 ・ソーラーユニットに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと。 ソーラーユニットに内蔵されているバッテリーに組み込まれている保護機構が破損し、発熱、破損、発火の原因になります。 ・ソーラーユニットに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。ソーラーユニットに内蔵しているバッテリーが変形して保護機構が破損し、発熱、破損、発火の原因になります。

⚠ 警告

燃えやすい物の近くで使用禁止	燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。昼でも本体に布や紙などがかぶさると点灯しますので、火災の原因となります。人がいなくても人感センサで点灯することがありますので、特にご注意ください。
取付方法を守る	本書に従って正しい方向に確実に取り付けてください。取り付けには方向性があります。安全のため必ず方向を確認し正しく取り付けてください。また、落とした製品は使用しないでください。取り付けに不備があると、火災、感電、落下の原因になります。 本製品に使用する、組み付け用、取り付け用のボルト、ナット、固定用ネジは確実に締めてください。締め付けが不十分な場合、本体落下の原因となります。
取付場所に注意	湿度の高くなる物の上に取り付けないでください。ガス機器やその排気口の上に取り付けないでください。火災の原因になります。 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しないでください。 火災、感電、製品落下の原因になります。 ソーラーユニットに内蔵されているバッテリーは、危険防止の為保護機構が組み込まれています。 保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しないでください。保護機構が破損し発熱、破裂、発火の原因となるおそれがあります。
異常なときは電源を切る	万一煙が出たり、変な臭いがする、火花が出るなどの異常な状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにソーラーユニットの端子台カバー内にある電源スイッチをOFFにし異常状態がおさまったことを確認してください。お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
感電注意	通電中は濡れた手で、本体に触らないでください。 （雨などで濡れているときも触らないでください。）
分解・改造の禁止	分解・改造は、危険ですのでおやめください。ソーラーユニットに内蔵されているバッテリーには危険を防止する保護機構が組み込まれており、保護機構が改造・分解により破損すると、バッテリーが発熱、破損発火、火災、感電の原因になります。
使用後の廃棄に注意	ご使用後の製品（ソーラーユニット）は、一般家庭ごみとして廃棄しないでください。 一般家庭ごみで廃棄するとソーラーユニットに内蔵されているリチウムイオン充電池がごみ収集車内などで破裂されてショートに至り、発火、発煙の原因になるおそれがあります。 ソーラーユニットのバッテリーボックスに内蔵されている充電池をソーラーユニットから取り出さずに、バッテリーボックスの端子部カバー内にある電源スイッチをOFFにした状態で、28ページに記載の弊社連絡先までお問い合わせください。 電気店などに設置してある「小形充電池式リサイクルBOX」では回収できません。

⚠ 注意

設置の注意	製品の高所への設置は、設置部および使用する取付部材が質量に十分耐えられる強度かどうかをお確かめのうえ確実に設置してください。充分な強度がない場合落下して製品が破損したり、大けがの原因になります。また、ぶら下がったり無理な力をかけないでください。製品が落下してけがをするおそれがあります。落下事故防止のため、ワイヤーロープは必ず取り付けて下さい。ワイヤーロープは製品の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1.5mm以上のステンレスワイヤーをご使用ください。 ・本製品は耐風速60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しないでください。落下の原因となります。 ・降雪、積雪地域で使用する場合、雪が積もったら必ず除雪してください。故障、製品破損の原因となります。
定期清掃点検の実施	適正な明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。 不具合があった場合はそのまま使用しないでください。施工、保守点検の際には手袋等の保護具を着用してください。保守点検の際には電源を切ってから製品が十分に冷えるまで待ってください。
長期ご使用時の交換	照明器具には寿命があります。取り付けて10年以上が経過すると、外観に異常がなくても内部劣化は進行しています。長期にご使用いただいた場合は必要に応じて製品を交換してください。 ソーラーユニットのバッテリーボックスに内蔵しているバッテリーには寿命があります。十分に充電しているにも関わらず点灯時間が短くなった時は、交換用バッテリーボックスをお買い求め頂き、バッテリーボックスを交換ください。交換方法は22、23ページ「ソーラーユニットのバッテリーボックスの交換」を参照ください。使い終わったバッテリーボックスは、一般家庭ごみとして廃棄しないでください。一般家庭ごみで廃棄するとバッテリーボックスに内蔵されているリチウムイオン充電池がごみ収集車内などで破壊されてショートに至り、発火、発煙の原因になります。バッテリーをバッテリーボックスから取り出さずに、バッテリーボックスの端子部カバー内にある電源スイッチをOFFにした状態で、28ページに記載の弊社連絡先までお問い合わせください。
不使用時の処置	ソーラーユニットを長時間使用しない場合は、ソーラーユニットの端子部カバー内にある電源スイッチをOFFにしてください。保管される場合は常温で湿気の少ないところに保管ください。 また長期間の保管はおやめください
ライトを直視しない	視力を損なうおそれがありますので、点灯中のライトを直接見ないでください。

1 お使いになる前に

人感センサ（パッシブインフラレッド方式）の検知原理とご使用にあたって

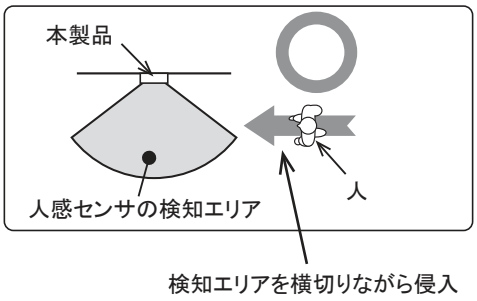
・本体の人感センサは、検知エリア内に人や車が入ったときの温度変化を検知する方式です。人感センサの特性により、以下の特徴があります。

・周囲の温度変化によって検知距離が短くなったり長くなったりすることがあります。
・温度変化を検知しているため静止している人などは検知しません。
・ガラス越しはガラスが透明でも検知しません。

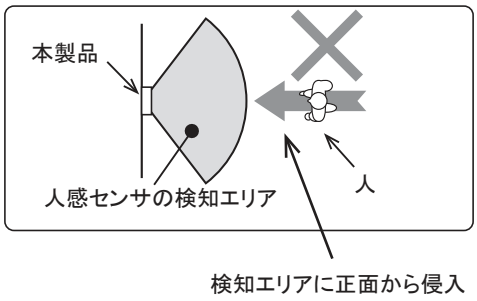
・次のような場所に設置すると、人がいなくてもLEDライトが点灯したり、逆に人がいるのに点灯しない場合がありますので、注意してください。

・検知エリア内に木や旗などの動く物がある場所
・建物脇の通路など狭い場所
・取付高さ 4.5mを超える場所
・検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所
・検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
・周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がある場所

・人感センサの検知の特性により、センサに対して人が製品正面から近づくと検知しにくい場合があります。



検知エリアを横切りながら侵入



検知エリアに正面から侵入

取り付け後は必ず動作テストをしてください。詳しくは20ページ「動作テスト」を参照してください。
検知エリア外でも検知する場合は検知エリアを調整してください。詳しくは18ページ「検知エリアの設定」を参照してください。

ソーラーユニットの昼夜判別センサについて

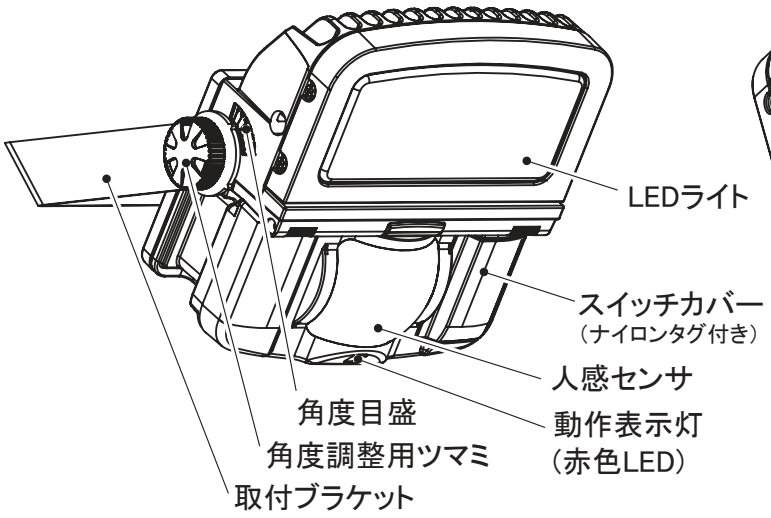
・ソーラーユニットに内蔵されている”昼夜判別センサ”は、設置された周囲の照度を測定し、夜間のみLEDライトを点灯し、昼間は消灯させます。

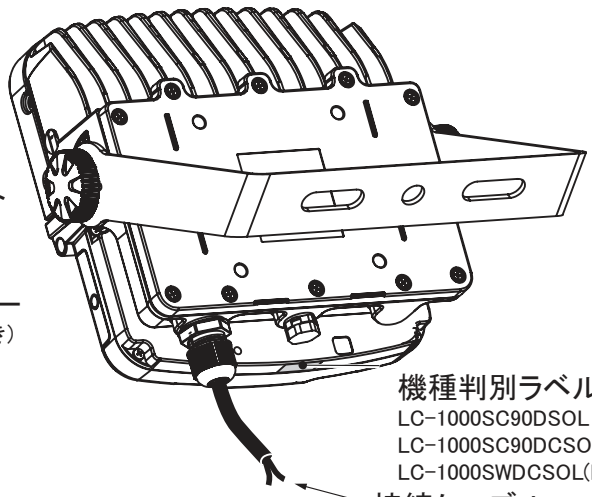
・夜間LEDライトが点灯中に、”昼夜判別センサ”に、車のヘッドライトやビルの窓からの光等が当てられると、昼間状態と判断し、LEDライトが消灯する場合があります。

各部の名称と付属品

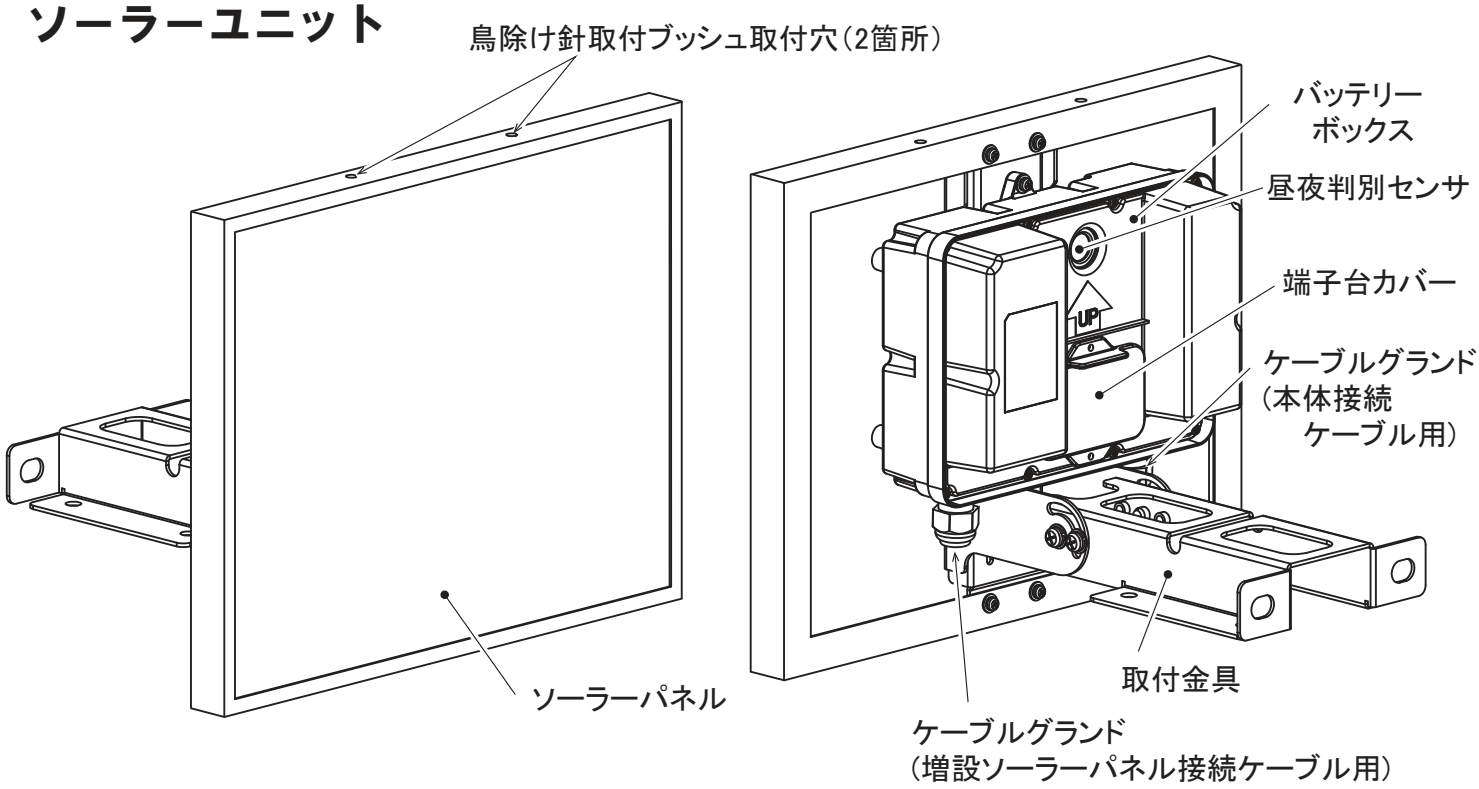
お使いになる前に、本体、ソーラーユニットと付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。

本体



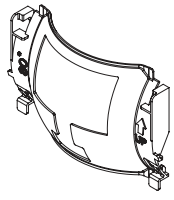


ソーラーユニット



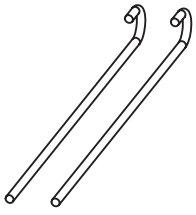
付属品

人感センサ用検知エリア
マスキングプレート
1 個

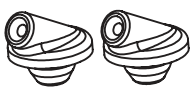


昼夜判別センサ
目隠しシール
1 枚

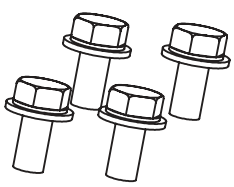
鳥除け針
2 個



鳥除け針
取付ブッシュ
2 個



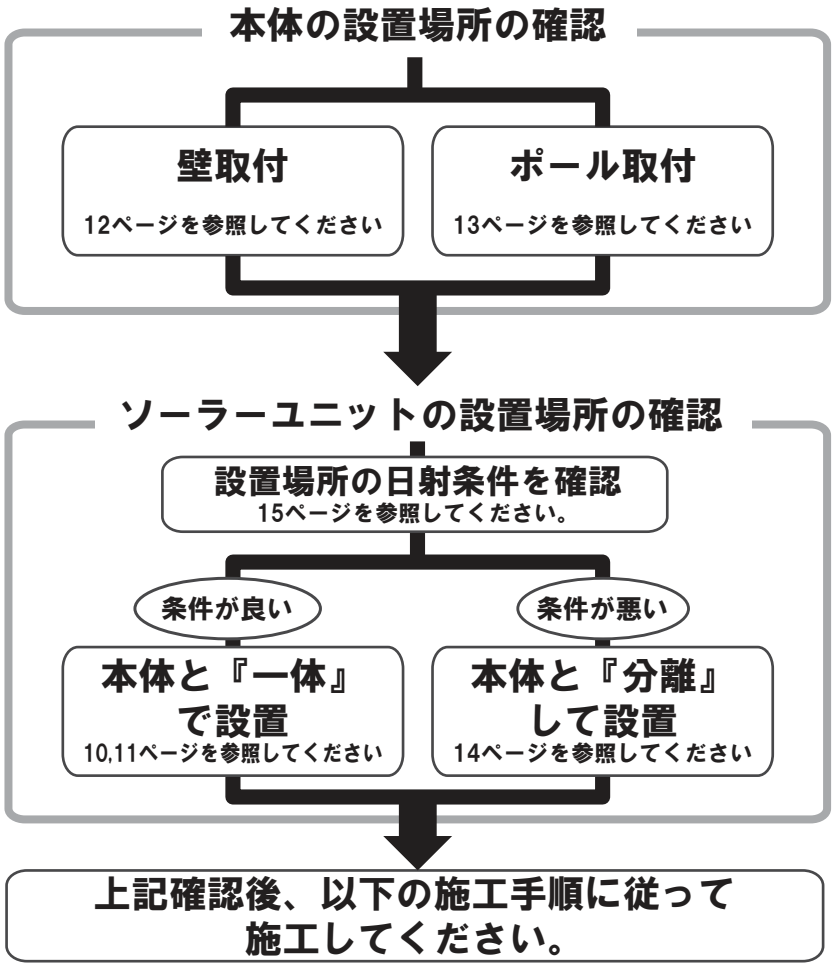
取付ボルト
M8 x 18
4 個



2 取付

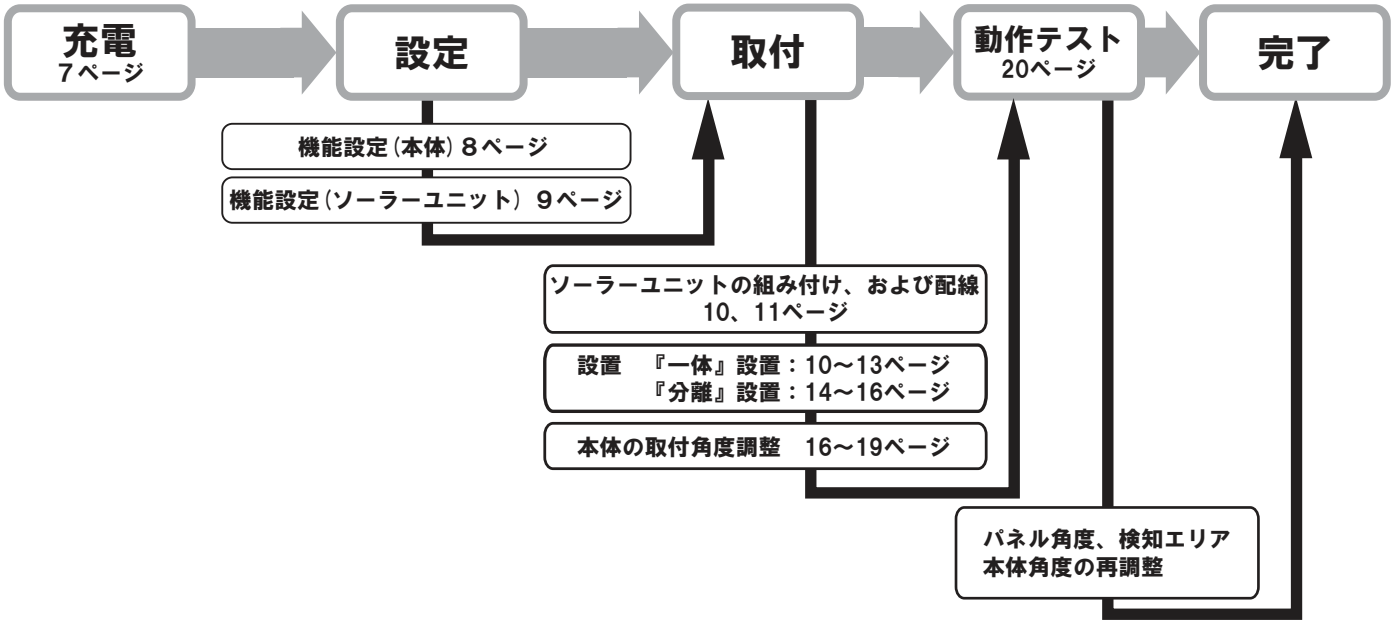
取付方法の確認

本体およびソーラーユニットの設置場所を確認してください。



施工手順

下記手順に従い施工してください。



設置前の充電について

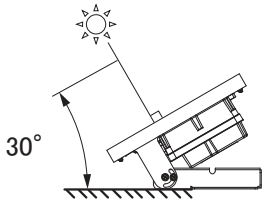
バッテリーは工場出荷時に若干量の充電をしていますので、機器の動作確認などにお使い頂けますが、
通常は、設置される前に、つぎのように太陽光による充電を行ってから設置してください。

1 ソーラーユニットの端子台カバー上部をつまんで引っぱり、端子台カバーを外します。

2 ソーラーユニット内部の電源スイッチを「ON」にします。

3 ソーラーユニットを、十分に充電できるように次のようなところに置いてください。詳しくは15ページ「ソーラーユニットの設置について」を参照してください。

- **真南向け**
- **推奨取付角度：地面から仰角30˚**
- **日中はできるだけ長時間日光の当たる場所**
- **年間を通してできるかぎり長時間太陽光が当たる場所**



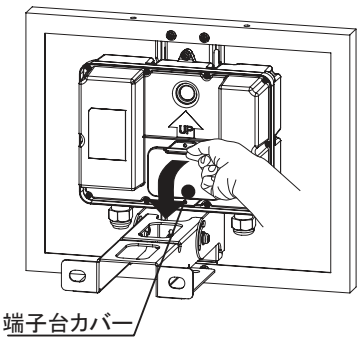
4 太陽光による充電を、10時間以上行ってください。

5 充電が完了しているか確認します。バッテリー残量は、バッテリー残量チェックボタンで確認できます。
詳しくは9ページ「バッテリー残量チェックボタン」を参照してください。
充電できていないときは、太陽光による充電を引き続き行ってください。

6 充電完了後、ソーラーユニット内部の電源スイッチを「OFF」にした後、端子台カバーを取り付けます。

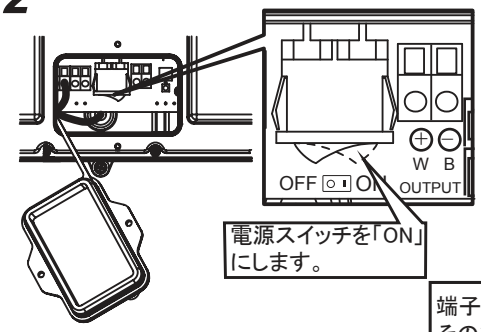
7 6ページの「施工手順」に従い、施工してください。ソーラーユニットの保管に関しては、1ページの最下部の「バッテリーの品質に関する注意書き」を守ってください。

1



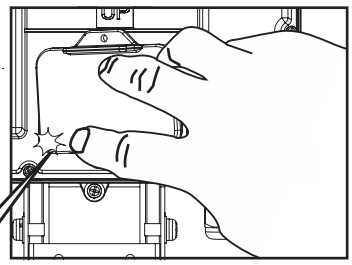
端子台カバー

2



電源スイッチを「ON」にします。

6



端子台カバーを取り付ける場合は、左下側を挿入しその後、4隅および全周を確実にはめこんでください。
取り付けた後、全周が浮きがなく平らな状態で確実にはめ込まれていることを確認してください。
はめ込みに不備があると、バッテリーボックス内部に浸水し、故障の原因になります。

設置後の充電について

バッテリーは工場出荷時に若干量の充電をしていますので、機器の動作確認などにお使いください。
以下のような場合、必要に応じて、つぎのように太陽光による充電を行ってください。

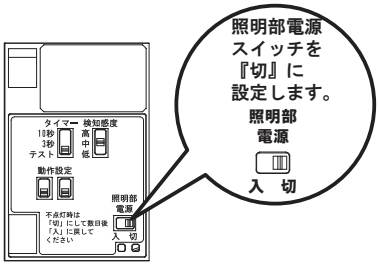
●施工の最初に充電せず、「動作テスト」まで施工し終わってから充電する場合
●使用中、人感センサによるLEDライトの点灯回数が想定より多く、バッテリー残量がなくなり、LEDライトが点灯しなくなった場合

1 本体のスイッチカバーを外して、内部の「照明部電源スイッチ」を「切」にします。スイッチカバーの外し方は8ページの「スイッチカバーの外し方」を参照してください。「切」にすると、LEDライトは点灯せず、充電のみ行います。

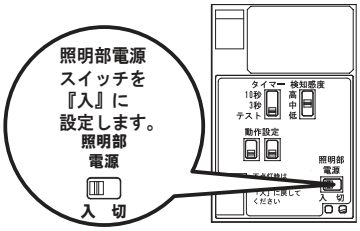
2 太陽光による充電を、10時間以上行ってください。

3 本体のスイッチカバー内部の「照明部電源スイッチ」を「入」にしてください。
本体スイッチカバーを必ずはめてください。本体スイッチカバーのはめ方は、8ページ「スイッチカバーのはめ方」を参照してください。

1



3

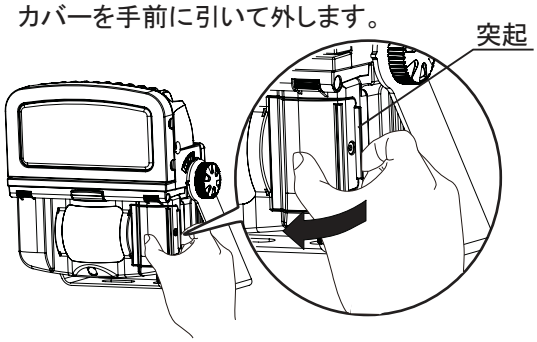


機能設定（本体）

スイッチカバー内部には、機能の設定を変更できるスイッチがあります。ご使用になる条件に合わせて設定を変更してください。
設定後は必ずスイッチカバーをはめてください。

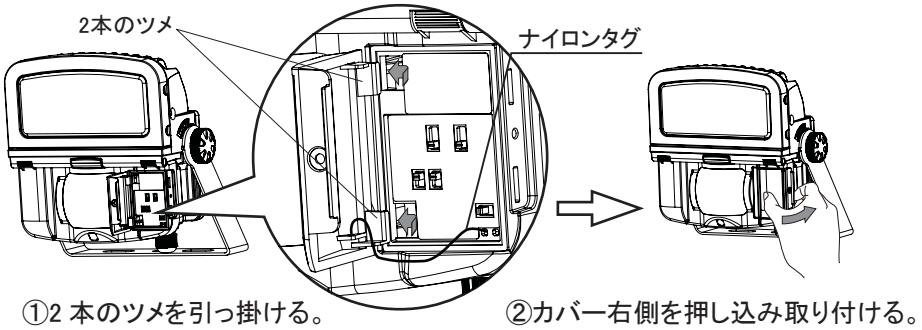
スイッチカバーの外し方

スイッチカバー横の突起に指をかけて
カバーを手前に引いて外します。



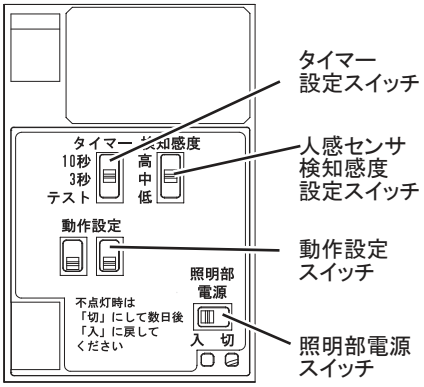
スイッチカバーのはめ方

スイッチカバー内側の2本のツメを引っ掛けた後、カバー右側を押し込み
取り付けます。　※ナイロンタグをパッキンに挟まないように注意してください。



①2 本のツメを引っ掛ける。　②カバー右側を押し込み取り付ける。

スイッチカバー内部



◎バッテリーセービング機能について

本製品は長時間点灯動作を保持するため、バッテリーのエネルギー残量（電圧）によって、待機時、人検知時のLEDライトの明るさを自動的に変化させます。そのため、動作設定スイッチによる点灯動作設定と異なる明るさになる場合があります。

■照明部電源スイッチの設定変更

照明部電源 入　切	動作設定どおりに点灯します。【工場出荷位置】
照明部電源 入　切	LEDライトは点灯動作しません。動作表示灯（赤色LED）が１分に１回点滅します。 バッテリー不足時に充電を行いたい場合設定します。

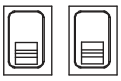
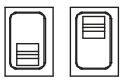
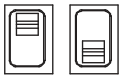
■タイマーの設定変更

タイマー設定スイッチ　人を検知したときの点灯時間を設定します。	
10秒 3秒 テスト	「10秒」にしたいときに設定してください。人感センサ検知時に「約10秒間」点灯します。タイマー時間中に再度検知した場合は、タイマー時間は延長され、非検知状態になってから「約10秒間」点灯します。
10秒 3秒 テスト	「3秒」にしたいときに設定してください。人感センサ検知時に「約3秒間」点灯します。タイマー時間中に再度検知した場合は、タイマー時間は延長され、非検知状態になってから、「約3秒間」点灯します。 【工場出荷位置】
10秒 3秒 テスト	動作確認や人感センサの検知エリア確認などの「動作テスト」をしたいときに設定します。人感センサ検知時に「約1秒間」点灯します。動作テスト終了後、必ず他の設定に変更してください。

■検知感度の設定変更

人感センサ検知感度設定スイッチ　検知感度を3段階(高/中/低)から選択します。	
高 中 低	エリア内の人を検知しにくいときは「高」にしてください。
高 中 低	通常は「中」でお使いください。【工場出荷位置】
高 中 低	エリア内に人がいないのに検知するときは「低」にしてください。

■動作設定スイッチ　　点灯動作モードの設定をします。

点灯動作モード	スイッチの位置	待機時の明るさ	待機点灯時間	無日照時点灯可能期間 ※1	LEDライトの点灯動作
センサライトモード	動作設定 	0 %	—	27日	待機時 消灯、人を検知すると 100%で点灯します。 待機時は消灯させるON/OFFセンサライトとして使いたいときに最適です。　【工場出荷位置】
朝まで点灯モード1	動作設定 	点灯してから16時間以内 : 5 % 16時間以後 : 0 %	16時間	6日 ※2	昼夜判別センサで夜と判定し、点灯開始してから16時間以内は、待機時5%で点灯、人を検知すると70%の明るさで点灯します。16時間以後昼夜判別センサで朝と判定し消灯するまでは、待機時には消灯、人を検知すると70%の明るさで点灯します。常夜点灯させたいときに最適です。
朝まで点灯モード2	動作設定 	点灯してから14時間以内 :10 % 14時間以後 : 0 %	14時間	4日 ※2	昼夜判別センサで夜と判定し、点灯開始してから14時間以内は、待機時10%で点灯、人を検知すると70%の明るさで点灯します。14時間以後昼夜判別センサで朝と判定し消灯するまでは、待機時には消灯、人を検知すると70%の明るさで点灯します。時限点灯させたいときに最適です。
フラッシングモード	動作設定	0 %	—	27日	待機時には消灯、人を検知するとフラッシング点灯します。光による簡易威嚇や、注意喚起させたいときに最適です。

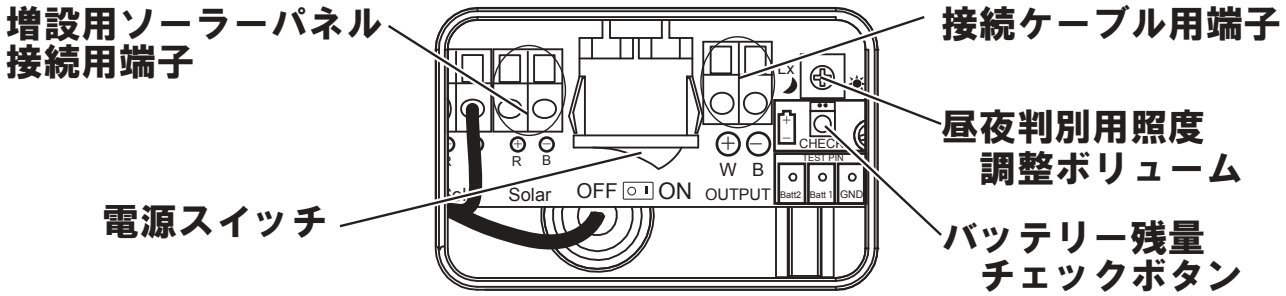
※1 本製品に搭載したリチウムイオン充電池が満充電された状態から、一切充電が行われない場合（ソーラーパネルへの積雪や連続雨天などの場合）の使用可能日数のことです。（算出条件） 検知時：10秒タイマー点灯で、検知回数：100回／1日の場合

※2 無日照時点灯可能期間以降はバッテリーの残量が少ないため、待機時は点灯せず、検知時のみの点灯となります。

注） バッテリー残量により、設定した点灯動作が自動的に以下の明るさになります（バッテリーセービング機能）。
バッテリーが
・少し減ったとき：待機時、人検知時の明るさが設定より少し暗くなります（フラッシングモードを除く）。
・さらに減ったとき：人検知時の明るさはさらに暗くなり、待機時は消灯します（フラッシングモードを除く）。
・無くなったとき：点灯動作しません。

機能設定（ソーラーユニット）

ソーラーユニットの端子台カバー内部



電源スイッチ

ON：通常使用する場合に、ONにしてください。
OFF：本製品を保管される場合や、配線時にOFFにしてください。
（上記イラストの状態：工場出荷位置）

接続ケーブル用端子

本体の接続ケーブルを接続する端子です。
「＋端子（左側）」に、接続ケーブルの「白線」を接続してください。
「－端子（右側）」に、接続ケーブルの「黒線」を接続してください。

増設用ソーラーパネル接続用端子

増設用ソーラーパネル（SP-10W：別売）を使用するときに、
増設用ソーラーパネルのパネル出力ケーブルを接続する端子です。
・「＋端子（左側）」に、パネル出力ケーブルの「赤線」を接続してください。
・「－端子（右側）」に、パネル出力ケーブルの「黒線」を接続してください。

昼夜判別用照度調整ボリューム

LEDライトの点灯開始照度を決める、昼夜判別センサ用ボリュームです。
周囲の明るさが約80 lxになるとLEDライトを点灯します。
街灯の点灯開始時刻よりも少し遅く点灯することを想定しています。
工場出荷位置はセンターで、通常はこのままお使いください。
・まだ明るいうちにLEDライトを点灯させたい場合
→ボリュームを右に回してください。
・より暗くなってからLEDライトを点灯させたい場合
→ボリュームを左に回してください。

バッテリー残量チェックボタン

バッテリー残量チェック用のボタンです。
電源スイッチが「ON」の状態でこのボタンを押したときに、赤色LEDが
点灯：バッテリー残量があります。
消灯：バッテリー残量がありません。
バッテリー残量がないときは、本体スイッチカバー内部の「照明部電源スイッチ」を「切」にして、太陽光による10時間以上の充電を行ってから、本体スイッチカバー内部の「照明部電源スイッチ」を「入」にしてご使用ください。
充電方法については7ページ「設置前の充電について」を参照してください。

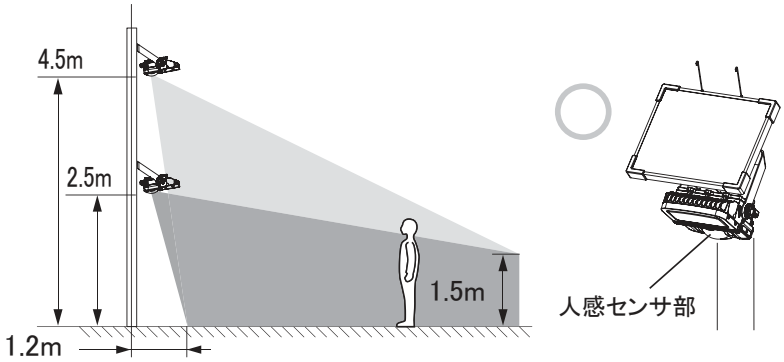
ソーラーユニットを本体と一体で設置する場合

■本体の取付方法

本体は次のように取り付けてください。

・垂直な壁や柱などに取り付ける際、人感センサ部が下側になるように取り付けてください。
・本体を逆さや斜め、横になるように取り付けると、誤検知したり、故障や感電の原因となります。

取付高さは 2.5m～4.5mの範囲にしてください。
人感センサの特性上、4.5mを超える高い場所に取り付けると人感センサが検知できなくなり、点灯動作が設定どおりに動作しない恐れがあります。
取付高さを守ってください。



取付場所を決めるときは、安全面も十分に注意してください。

警告

・人や車、物がぶつからない所に取り付けてください。
・高温になる場所や燃えやすい物の近くに取り付けないでください。火災の原因になります。
・製品が落下しないように、安定した場所に取り付けてください。
・長期的に強度が保てる壁または柱などに取り付けてください。強度が保てないときは製品落下によるけがの原因になります。
・取付面は定期的に点検してください。

本体を一時的に地面などに置く際の注意点

本体を地面などに置く時は、人感センサ部が地面に直接当たらないようにしてください。
レンズ表面に傷が付き、人感センサが検知できなくなるおそれがあります。

■ソーラーユニットの組み付け、および配線

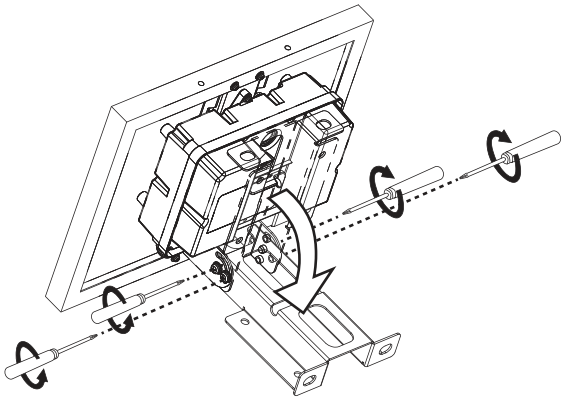
ソーラーユニットを本体と一体で設置することができます。
ソーラーユニットを本体と分離して設置する場合は、14ページ「ソーラーユニットを本体と分離して設置する場合」に進んでください。

危険

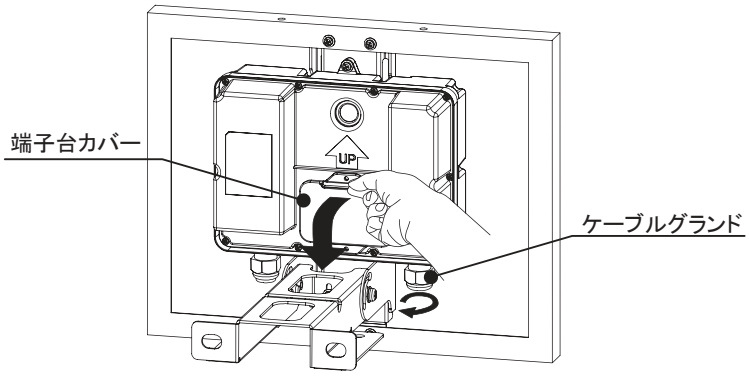
バッテリーは出荷前に若干量の充電をしておりますので、機器の動作確認等にお使いください。
動作の確認ができない場合や、ご購入後初めて使用される場合は、太陽光による充電を10時間以上してからお使いください。

ソーラーユニットはLC-1000SC90DSOL、LC-1000SC90DCSOL(BL)、LC-1000SWDCSOL(BL)専用です。本製品以外の用途に使いますと、機器によっては異常な電流が流れ、バッテリーが破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

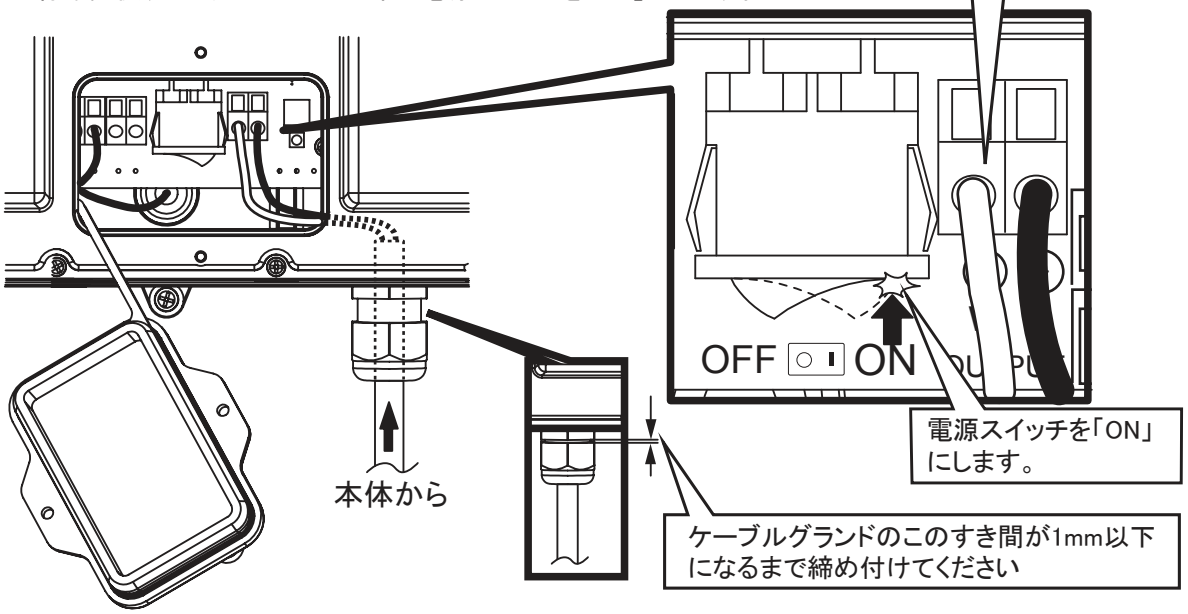
1 ソーラーユニットの取付金具の両サイドのネジ(4箇所)を緩め取付金具の角度を変えます。



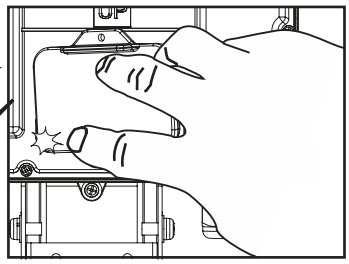
2 ケーブルグランドを左に回し緩めます。
端子台カバー上部をつまんで引っぱり、端子台カバーを外します。



3 ・本体の接続ケーブルをソーラーユニットのケーブルグランドから通し、
ソーラーユニット内部の「接続ケーブル用端子」に以下のように配線します。
・接続ケーブルの「白色」を、接続ケーブル用端子の「＋端子（左側）」へ
・接続ケーブルの「黒色」を、接続ケーブル用端子の「－端子（右側）」へ
・配線時のたるみは、イラストの様に少したるませて配線してください。
・配線は端子台の奥まで差し込み、抜けないことを確認してください。
・配線後、ケーブルグランドを右に回して締めます。
・配線確認後、ソーラーユニット内部の電源スイッチを「ON」にします。

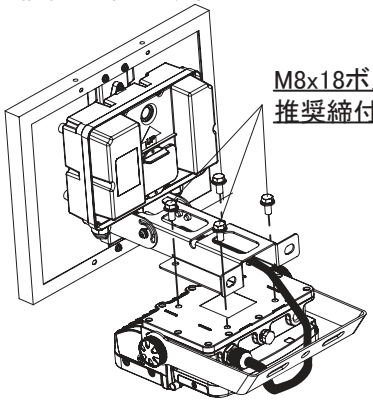


4 電源スイッチを「ON」にした後、端子台カバーを取り付けます。



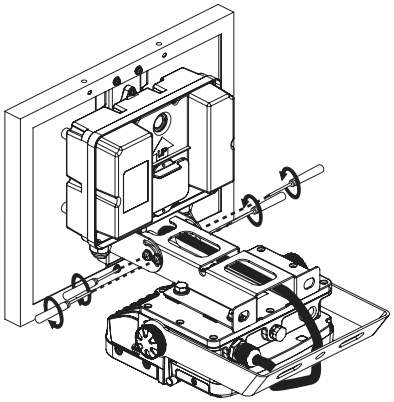
端子台カバーを取り付ける場合は、左下側を挿入しその後、4隅および全周を確実にはめこんでください。
取り付けた後、全周が浮きがなく平らな状態で確実にはめ込まれていることを確認してください。
はめ込みに不備があると、バッテリーボックス内部に浸水し、故障の原因になります。

5 本体にソーラーユニットを、付属品のM8 x18ボルト 4本で、上下を間違わないように取り付けます。
・取付時に、LEDライト部や人感センサ部を床などに当てないようにしてください。傷ついたり、破損する可能性があります。



M8x18ボルト（付属品）4箇所
推奨締付トルク：54N・m

6 ソーラーユニットの両サイドの取付角度調整ネジのネジ（4箇所）を仮固定します。



■壁や平らな柱などに取り付ける場合

1 本製品を壁や平らな柱などに直接取り付ける場合は取付面に適したネジを使用してください。
推奨ボルト:M10ボルト x2（別途ご準備ください）　推奨締付トルク:54N・m

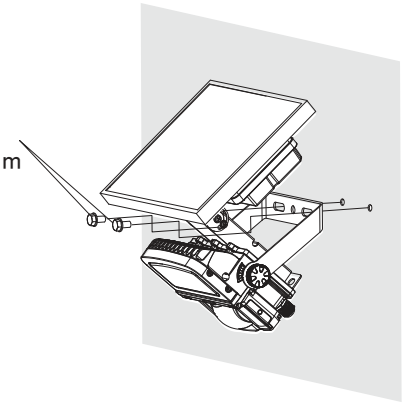
警告

長期的に強度が保てる壁または柱などに取り付けてください。強度が保てないときは製品落下による
けがの原因になります。取付面は定期的に点検してください。

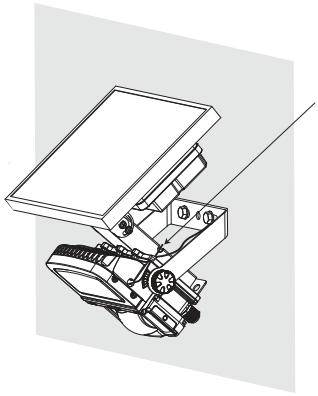
2 落下事故防止のため、ワイヤーロープ（別途ご準備ください）を必ず取り付けてください。
ワイヤーロープは製品の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1.5mm以上のステンレスワイヤーをご使用ください。
取り付け後、確実に設置できていることを確認してください。

1

M10ボルト x2
（別途ご準備ください）
推奨締付トルク:54N・m



2

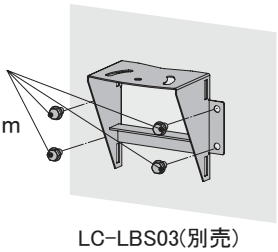


落下事故防止
ワイヤーロープ
（別途ご準備ください）

左右方向の角度調整が必要な場合

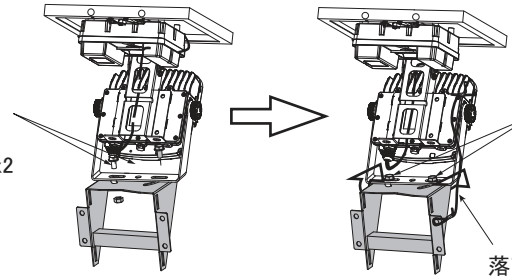
壁面・ポール取付架台　LC-LBS03（別売）を、壁や平らな柱などに取り付け、本製品を取り付けてください。
落下事故防止のため、ワイヤーロープ（別途ご準備ください）を必ず取り付けてください。
ワイヤーロープは製品の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1.5mm以上のステンレスワイヤーをご使用ください。

M10ボルト x4
（別途ご準備ください）
推奨締付トルク:54N・m



LC-LBS03(別売)

LC-LBS03　付属品
M10ボルト　x2
ナット　x2
スプリングワッシャー　x2
平ワッシャー　x4



推奨締付トルク
54N・m

落下事故防止
ワイヤーロープ
（別途ご準備ください）

■ポールに取り付ける場合

ポールには、以下の金具（別売）を使って、本製品を取り付けます。
丸ポール：ポール金具　PA-150SB（別売）　適合ポール径 φ76.3～φ114.3mm
角ポール：角柱取付金具　LC-LBS04（別売）　適合幅：75～100mm

以下では、丸ポールに取り付ける手順を表しています。
PA-150SB　付属品：M10寸切り x2、M10ボルト x2、平ワッシャー x8、スプリングワッシャー x4、M10ナット x6

1 PA-150SB（別売）に付属のM10寸切り、平ワッシャー、スプリングワッシャー、M10ナットを使用し、ポールに確実に取り付けます。
M10ナット　推奨締付トルク：54N・m

警告

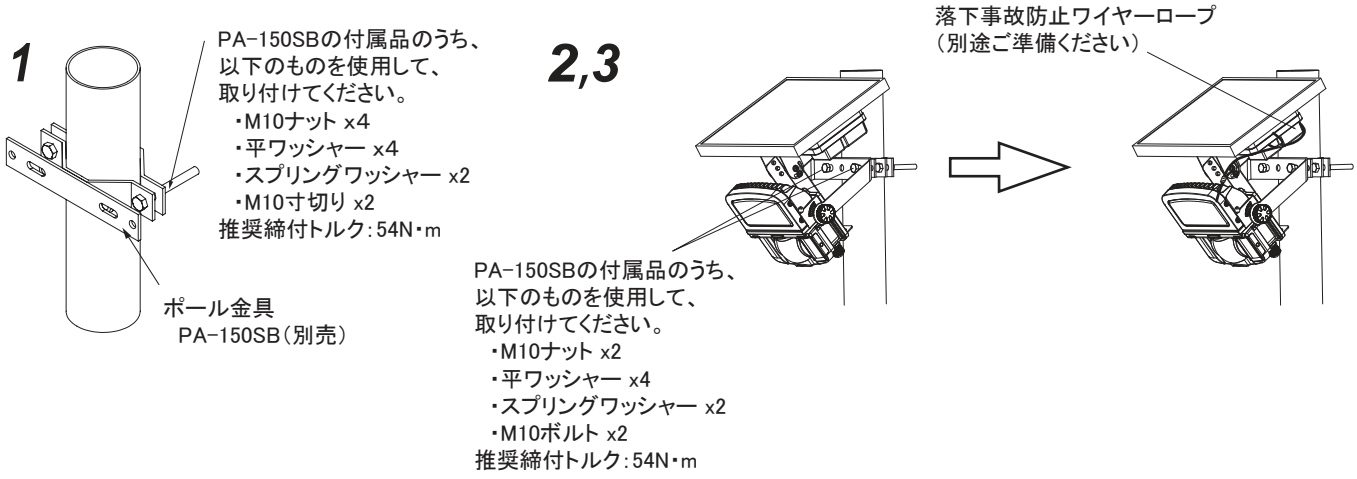
長期的に強度が保てるポールに取り付けてください。強度が保てないときは製品落下によるけがの原因になります。取付面は定期的に点検してください。

2 PA-150SB（別売）に付属のM10ボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャー、M10ナットを使用し、本製品を取り付けます。
M10ナット　推奨締付トルク：54N・m

警告

ボルト、ナットの締め付けが不十分な場合、製品落下によるけがの原因になります。

3 落下事故防止のためワイヤーロープ（別途ご準備ください）を必ず取り付けてください。
ワイヤーロープは製品の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1.5mm以上のステンレスワイヤーをご使用ください。
取り付け後、確実に設置できていることを確認してください。
設置後、16～19ページの「本体の取付角度の調整」に進んでください。



ソーラーユニットを本体と分離して設置する場合

接続ケーブルの延長（ソーラーユニットを分離して設置する場合）

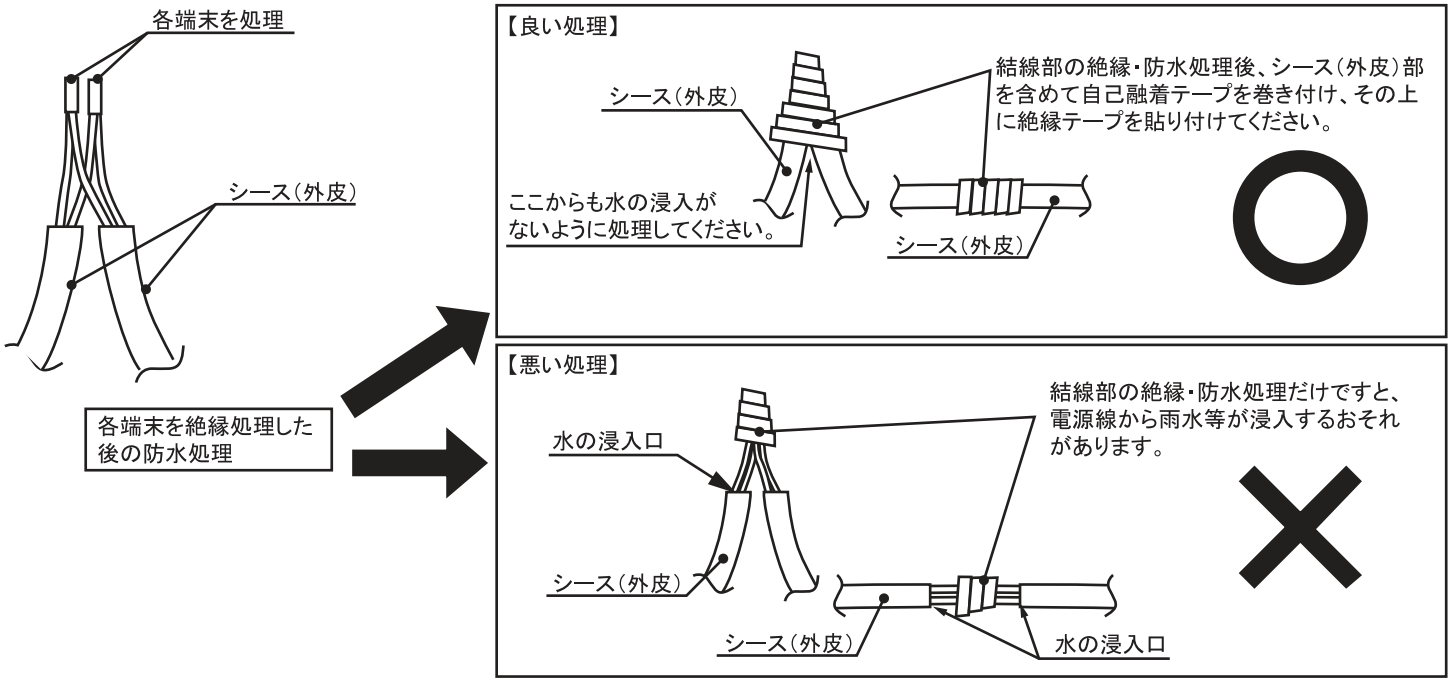
本製品の接続ケーブルの長さは、**最長15m**まで延長できます。
延長する際は、本製品の接続ケーブル（口出し線、**白：＋、黒：－**）と、延長ケーブル（別途ご準備ください）を使用し、確実に絶縁、防水処理を行ってください。

延長ケーブルには、耐候性、防水性能があり、太さ:0.5～0.75㎟（AWG18～20）のケーブルをご準備ください。
（推奨延長ケーブル）　キャブタイヤケーブル　2PNCT　0.75㎟　2芯

絶縁・防水処理は**結線部のみではなくシース（外皮）部も含めて**行ってください。

絶縁・防水処理は**自己融着テープ処理をして、絶縁テープの巻きつけ**を行ってください。

不十分な場合、接続ケーブルからしみ込んだ水分により浸水し動作不良になることがあります。

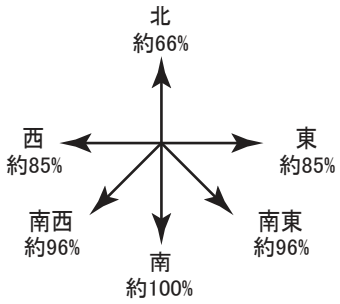


・接続ケーブルの延長後、10ページの ***2*** 、および11ページの ***3 ,4*** を参照して、本体とソーラーユニットを配線してください。

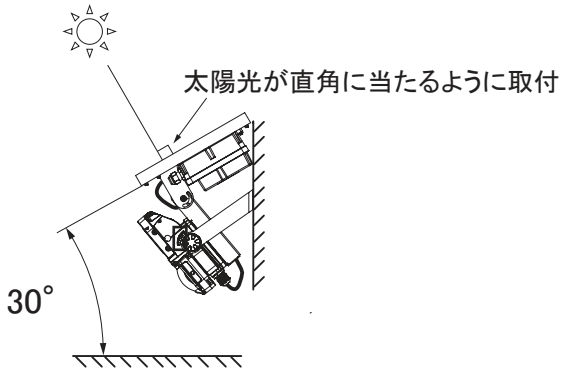
ソーラーユニットの設置について

・ソーラーユニットは十分に充電できるように、つぎのようなところに取り付けてください。

・真南向け
※地面から仰角 30°、真南を100%とした場合の、
各方角による発電量の違いのイメージ



・推奨取付角度：地面から仰角30°
※積雪の多い地域では、50度～60度で設置してください。



・日中はできるだけ長時間日光の当たる場所
・年間を通してできるかぎり長時間太陽光が当たる場所

・ソーラーパネル面はビルや壁・樹木・看板・堤防・石垣等の影にならない場所や、粉塵・鳥の糞などで汚染されるおそれのない場所を選んで設置してください。また部分的であってもソーラーパネル面が隠れると十分に発電できません。

・ケーブルグランドが下側になるように取り付けてください。逆さまや横向きに取り付けると故障や漏電の原因になります。

・ソーラーユニットを本体と離して設置する場合、つぎのように取り付けてください。
・ソーラーユニットと本体の配線距離は15m以内で設置してください。
・接続ケーブルはゆとりを持って設置してください。
・接続ケーブルは人や車に踏まれたり、金具などに挟まれたりしないように設置してください。
・当社推奨の接続ケーブルを使用しない場合、水や虫の侵入により破損もしくは誤動作する可能性があります。

・落下防止のため、ワイヤーロープ（別途ご準備ください）を必ず取り付けてください。ワイヤーロープは製品の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1.5mm以上のステンレスワイヤーをご使用ください。取り付け後、確実に設置できていることを確認してください。

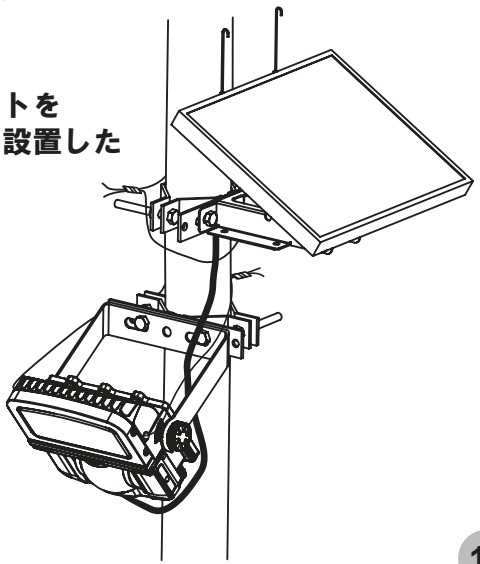
・接続ケーブル、延長ケーブルは結束バンド等（別途ご準備ください）で取付金具に固定してください。

・本体の設置環境、ソーラーユニットの取付条件により、製品の仕様上、不点灯、または設定とは異なる点灯動作が起こる場合があります。

「寒冷地での使用時の注意点」
本製品に搭載したリチウムイオン充電池が満充電された状態から、一切充電が行われない場合（ソーラーパネルへの積雪や連続雨天などの場合）の使用可能日数（不日照時点灯可能期間）は、9ページ「動作設定スイッチ」を確認してください。
これを越える使用環境においては、LEDライトが点灯しない場合があります。

※本製品は気温が−20℃以下になると、安全上充電を停止します。（LC−1000SC90DSOLは0℃以下で充電停止）
−20℃以下が続く場所でご使用された場合、製品の仕様上、不点灯や、設定とは異なる点灯動作が起こる場合があります。
日中の最高気温が−20℃以下が、3日以上続く可能性がある地域においては、
オプション品の「増設ソーラーパネル　SP−10W（別売）」の増設を推奨します。

ソーラーユニットを本体と分離して設置した設置例



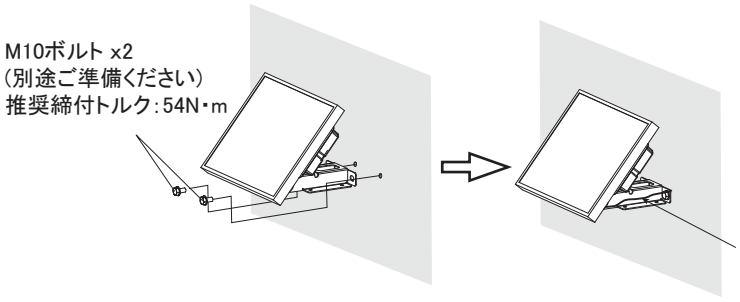
警告

・長期的に強度が保てる壁または柱などに取り付けてください。
強度が保てないときは製品落下によるけがの原因になります。
取付面は定期的に点検してください。
・取付用のボルト、ナットは確実に締めてください。締め付けが不十分な場合、製品落下によるけがの原因になります。

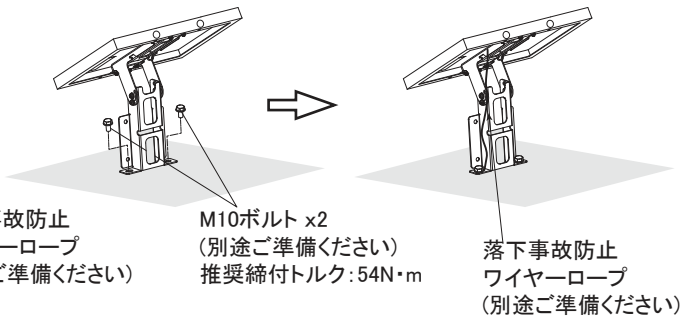
■壁や平らな柱、床面などに取り付ける場合

・ソーラーユニットを、壁や平らな柱、床面などに直接取り付ける場合は、取付面に適したネジを使用してください。

＜壁や平らな柱への取り付け＞



＜床面への取り付け＞



■ポールに取り付ける場合

ポールには、以下の金具（別売）を使って、本製品を取り付けます。

丸ポール：ポール金具　PA-150SB（別売）　適合ポール径：φ76.3～φ114.3mm

角ポール：角柱取付金具　LC-LBS04（別売）　適合幅：75～100mm

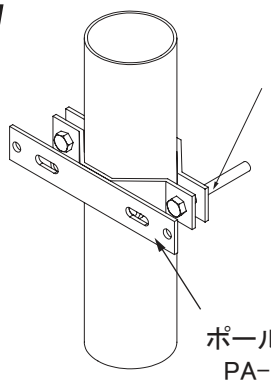
以下では、丸ポールに取り付ける手順を表しています。

PA-150SB 付属品：M10寸切り x2、M10ボルト x2、平ワッシャー x8、スプリングワッシャー x4、M10ナット x6

1 PA-150SB（別売）に付属のM10寸切り、平ワッシャー、スプリングワッシャー、M10ナットを使用し
ポールに確実に取り付けます。　M10ナット　推奨締付トルク：54N・m

2 PA-150SB（別売）に付属のM10ボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャー、M10ナットを使用し、ソーラーユニット
を取り付けます。　M10ナット　推奨締付トルク：54N・m

1

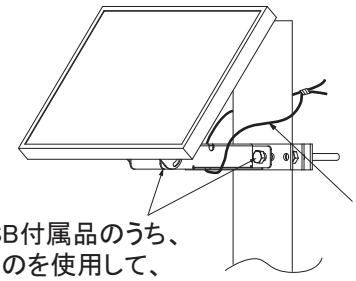


PA-150SBの付属品のうち、
以下のものを使用して、
取り付けてください。
- ・M10ナット x4
- ・平ワッシャー x4
- ・スプリングワッシャー x2
- ・M10寸切り x2

推奨締付トルク：54N・m

ポール金具
PA-150SB（別売）

2



PA-150SB付属品のうち、
以下のものを使用して、
取り付けてください。
- ・M10ナット x2
- ・平ワッシャー x4
- ・スプリングワッシャー x2
- ・M10ボルト x2

推奨締付トルク：54N・m

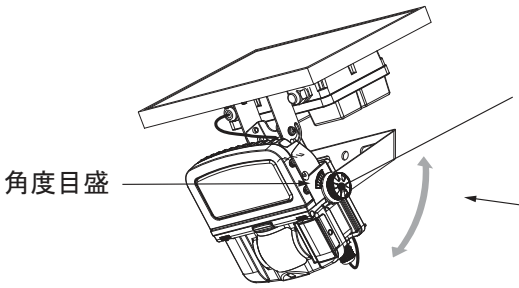
落下事故防止
ワイヤーロープ
（別途ご準備ください）

本体の取付角度調整

■LEDライトの設定

1 取付ブラケットが動くように角度調整用ツマミを緩めます。（左右共）

2 取付ブラケットの角度を調整します。
取付ブラケットの角度は上下に調整できます。角度は両側面の角度目盛を合わせて固定してください。
上下方向の角度は側面の 0° ～50° の目盛りの範囲内で行ってください。

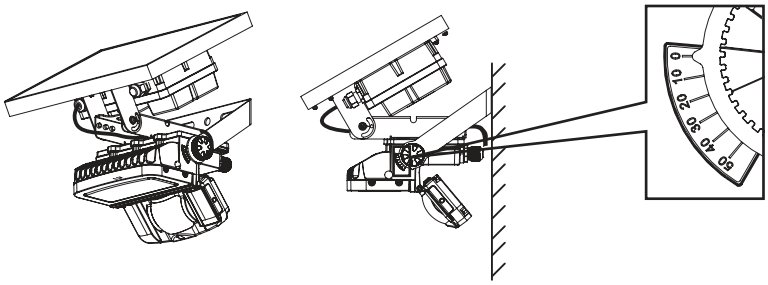


1 角度調整用ツマミを緩める。（左右共）

角度調整用ツマミ

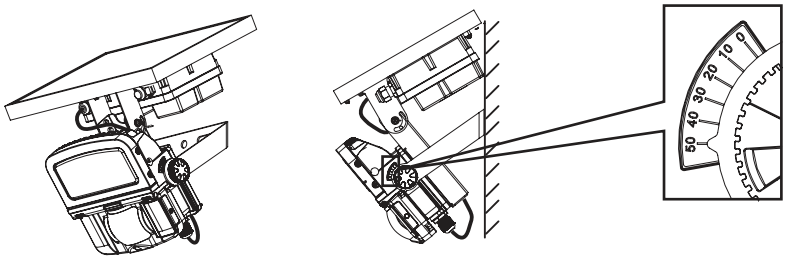
2 取付ブラケットの角度を両側面の角度目盛
0° ～50° の範囲内で調整する。
※人感センサ部を持って調整しないでください。
破損する可能性があります。

●LEDライト部を真下に向けて使用したい場合



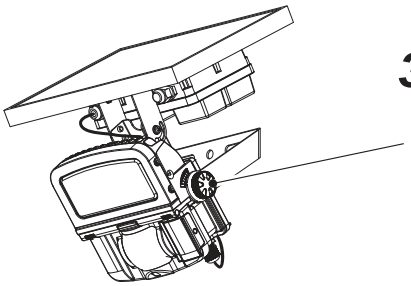
角度目盛 0° に設定してください。

●LEDライト部を上向けて使用したい場合



側面の角度目盛 50° までの範囲で設定してください。

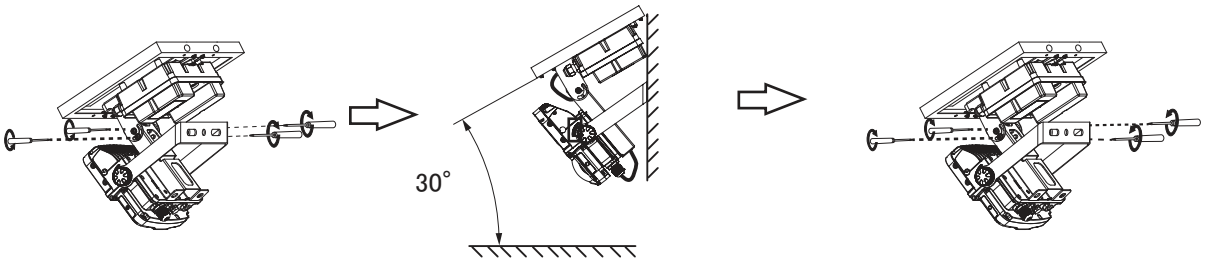
3 取付ブラケット左右の角度調整用ツマミを固く締めて、角度を固定します。



3 角度調整用ツマミを締める。(左右共)

角度調整用ツマミ

4 本体設置後、ソーラーユニットの取付角度調整ネジを緩め(左右各2箇所)、取付角度を地面から仰角30° になるように調整し、再度取付角度調整ネジを締め角度を固定します。ご使用の状況に合わせて、本体、およびソーラーユニットの取付角度を再度調整してください。
当社推奨の接続ケーブルを使用しない場合、水や虫の侵入により破損もしくは誤動作する可能性があります。

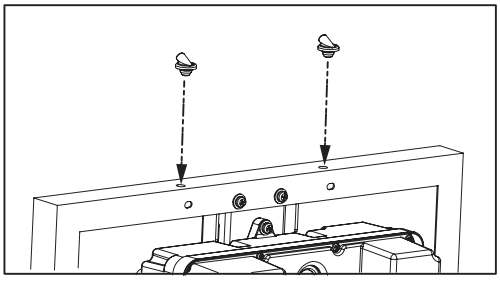


取付角度調整ネジを緩める
(4箇所)

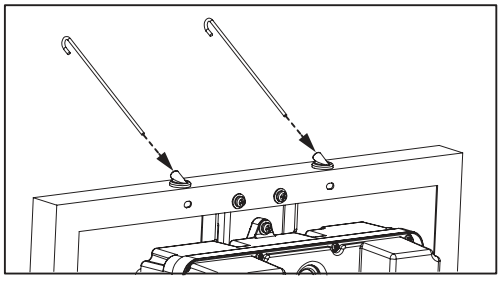
地面から仰角30°
(推奨値)で固定。

取付角度調整ネジを締める
(4箇所)
推奨締付トルク:54N・m

5 設置場所の必要に応じてソーラーパネル上部に付属品の鳥除け針取付ブッシュを取り付た後に鳥除け針を取り付けます。(2箇所)



パネル上面の穴に鳥除け針取付ブッシュを取り付けます。(2箇所)

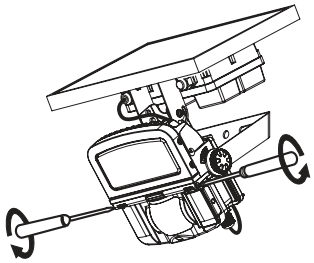


鳥除け針取付ブッシュの穴に鳥除け針を挿入して取り付けます。(2箇所)

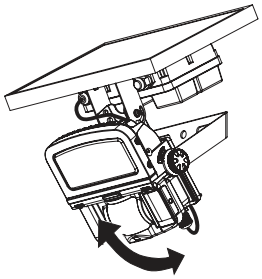
■検知エリアの設定

●本体人感センサ部の角度調整による設定
本体人感センサ部の左右のネジをドライバーで緩めて、上下に動かして検知エリアを調整してください。
調整後は左右のネジをドライバーで締め、人感センサ部の角度を固定してください。

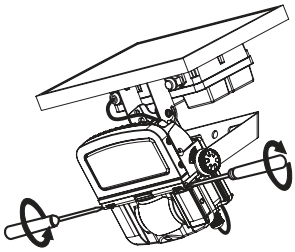
①左右のネジを緩めてください。



②人感センサ部を上下に動かして
検知エリアを調整してください。

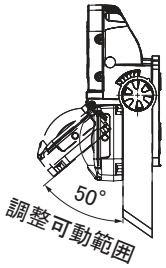


③調整後は必ず左右のネジを締めて
人感センサ部の角度を固定してください。



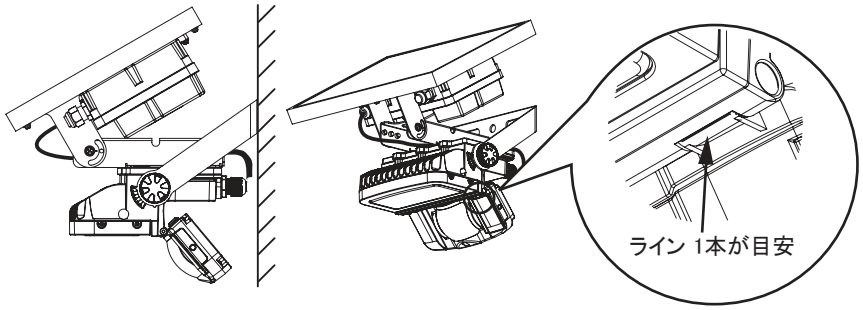
注意

人感センサ部は可動範囲（0° ～50° ）を超えて無理に力を加えないでください。
破損の原因になります。



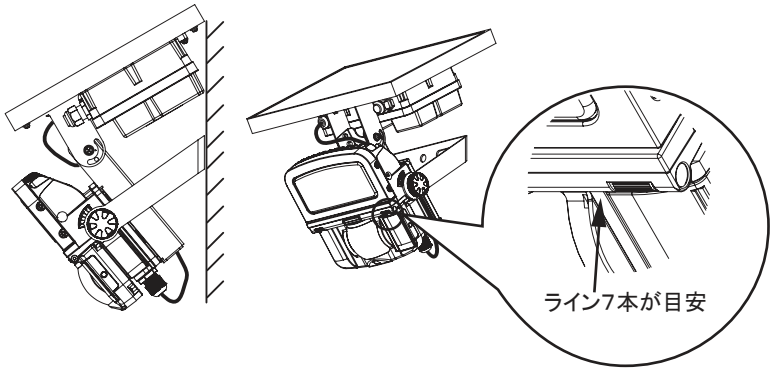
例）本体を高さ 4.5mに取り付ける場合
※検知エリアは19ページ「検知エリア図」を参照ください。

●LEDライト部を真下に向けて使用したい場合



センサ部を**開いて**
ご使用ください。
（ラインは1本が目安）

●LEDライト部を上向き（側面の角度目盛 50° ）で使用したい場合

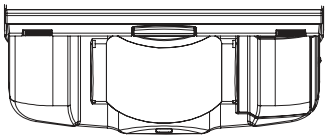
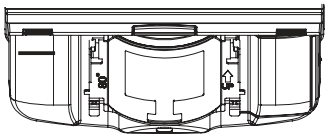
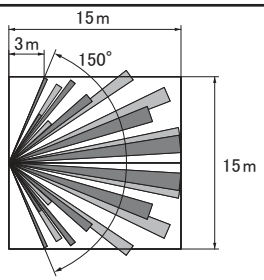
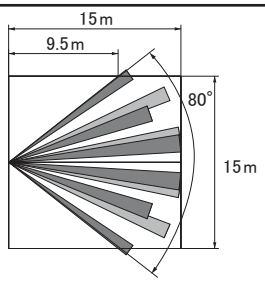
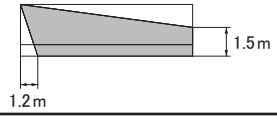
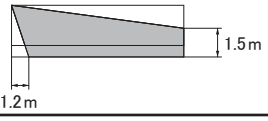
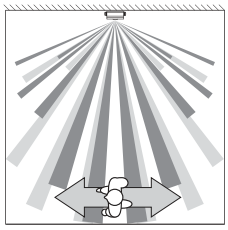
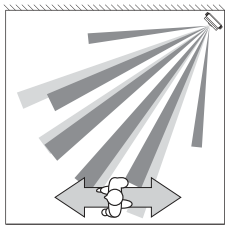


センサ部を**閉じて**
ご使用ください。
（ラインは7本が目安）

検知エリアは実際に動作テストを行い確認してください。
詳しくは20ページ「動作テスト」を参照ください。

■検知エリア図

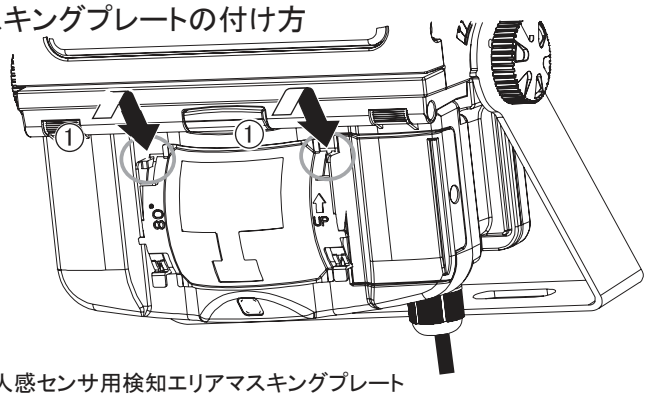
例）本体を高さ 4.5m取付、LED照明部角度 50° で設定した場合の検知エリア図

人感センサ用検知エリア マスキングプレートの装着		なし（150° エリア）	あり（80° エリア）
人感センサ部			
検知エリア図	平面図		
	側面図		
取付環境イメージ ※取付場所の特性による誤動作防止のため適切なエリア設定を行ってください。		敷地の辺に取付ける場合に設定 	敷地の角に取付ける場合に設定 

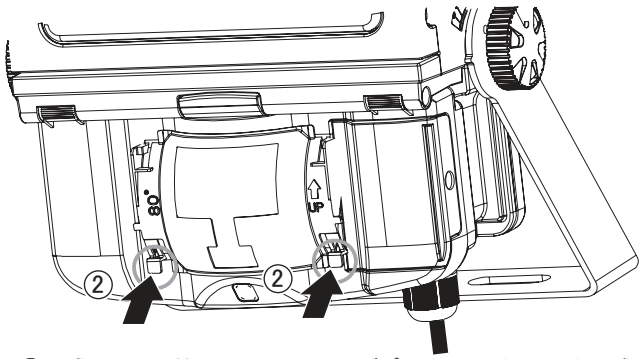
■人感センサ用検知エリアマスキングプレートによるエリア設定

付属品の人感センサ用検知エリアマスキングプレートを人感センサに装着することにより、左右方向の検知範囲を狭くすることができます。検知エリアの左右方向が広すぎる場合に装着してください。

マスキングプレートの付け方

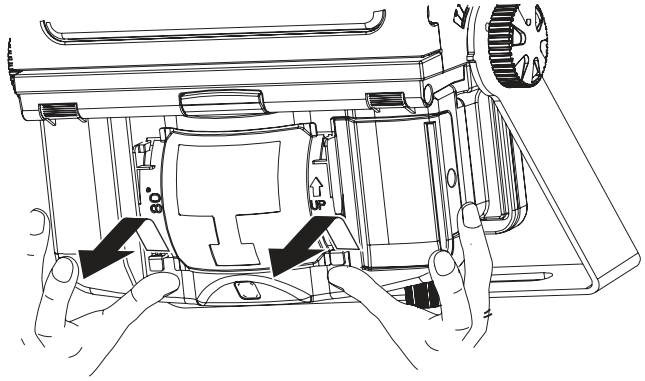


①人感センサ用検知エリアマスキングプレートの上側の爪を人感センサの穴にひっかけます。



②人感センサ用検知エリアマスキングプレートの下側の爪を人感センサの穴にはめ込みます。
人感センサレンズ面からの浮きがないように完全に取り付けられていることを確認してください。

マスキングプレートの外し方



人感センサ用検知エリアマスキングプレートの下側の爪を上に持ち上げて人感センサから外します。

注意

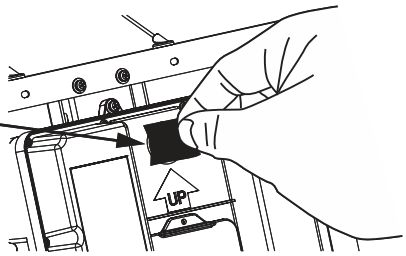
無理に力を加えないでください。マスキングプレートが破損するおそれがあります。

動作テスト

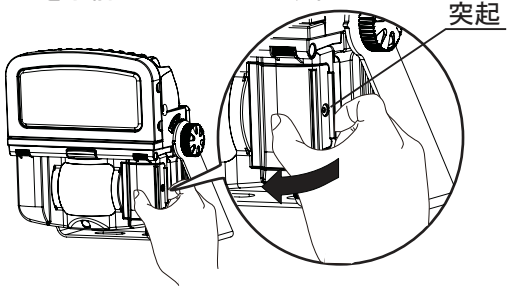
取り付けた後は必ず動作テストを行い、人感センサが検知した時、あかりが必要な場所でLEDライトが約1秒間点灯することを確認してください。

1 付属品の昼夜判別センサ目隠しシールを、ソーラーユニットの昼夜判別センサ前面に貼り付け、昼夜判別センサに光が入らないようにします。
その後、ソーラーユニットの端子台カバー内部の電源スイッチを「ON」にして本製品を通電させると、人感センサのウォームアップが始まります。ウォームアップの約1分間は人感センサは反応しません。このときLEDライトは消灯、動作表示灯（赤色LED）はゆっくり点滅します。
人感センサのウォームアップが始まらない場合は、昼夜判別センサ目隠しシールが、昼夜判別センサに光が入らないように貼り付けできているか確認してください。

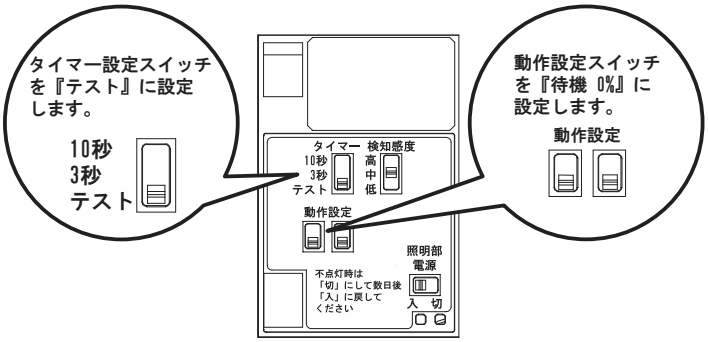
ソーラーユニットの
昼夜判別センサに、
昼夜判別目隠しシール
を貼り付ける。



2 スイッチカバー横の突起に指をかけて
カバーを手前に引いて外します。

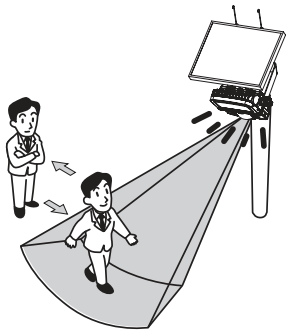


3 設定スイッチを設定します。



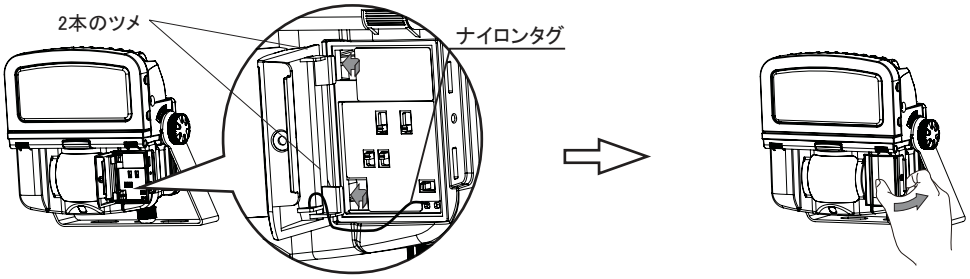
上のイラストの設定では人感センサが検知すると
LEDライトは約1秒間点灯し、人感センサ待機時は消灯します。
動作表示灯（赤色LED）は人感センサ検知時は点灯し、
人感センサ待機時は消灯します。

4 検知エリアの外で離れて待ち、LEDライトが消灯したあと
検知エリアの中にゆっくり入ります。
再びLEDライトが1秒間点灯すると正常です。
LEDライトが点灯しない場合は24ページ
『「おかしいな・・・」と思ったら』を参照してください。



5 動作テスト終了後、機能設定（本体）スイッチをご希望の設定に変更してください。

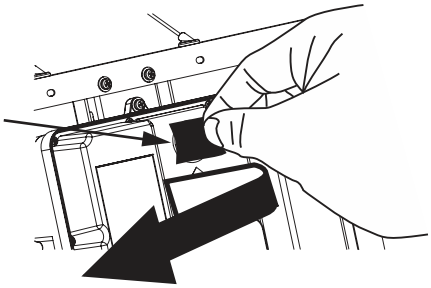
6 スイッチカバー内側の2本のツメを引っ掛けた後、カバー右側を押し込み取り付けます。
※ナイロンタグをパッキンに挟まないよう注意してください。



①2 本のツメを引っ掛ける。　　②カバー右側を押し込み取り付ける。

7 動作テスト終了後、必ず昼夜判別目隠しシールをはがしてください。このとき昼夜判別センサが夜と判断した場合は、LEDライトは機能設定（本体）スイッチで設定された点灯動作を行い、昼と判別した場合は、LEDライトは消灯します。

ソーラーユニットの
昼夜判別センサから、
昼夜判別目隠しシール
を剥がす。



3 メンテナンス

■ 汚れたときは

・水洗いはしないでください。製品の汚れはやわらかい布で乾拭きするか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭き取ってください。ベンジンやアルコール、シンナーなどの化学薬品を使用されますと変色、変形、ひび割れを生じる場合がありますので使用しないでください。

警告

濡れた手で、本体に触らないでください。
感電の原因になります。

■ 定期的な点検

製品を長期にわたって安全にご使用いただくためにも、年に1回は定期的に以下の点検を行ってください。

・角度調整用ツマミの緩みがないか。
・取付部の緩みがないか。
・落下防止用ワイヤーロープの損傷はないか。
・ソーラーパネルの汚れや損傷はないか。
・ソーラーユニットと本体の取付部のネジの緩みがないか。
・ソーラーユニット角度調整用のネジの緩みがないか。
・人感センサ部のネジの緩みがないか。
・人感センサ部の汚れはないか。

ソーラーユニットについて

ソーラーユニットには、リチウムイオン充電池を内蔵しています。つぎのことを守ってください。

バッテリーは出荷前に若干量充電しておりますが、LEDライトの点灯動作の確認ができない場合や、ご購入後初めて使用される場合は、必ず太陽光による10時間以上の充電をしてください。充電をしない場合バッテリー残量が不足すると、設定動作と異なる点灯動作や、点灯しない場合があります。充電方法については7ページ「設置前の充電について」を参照してください。

Li-ion00

■リチウムイオン充電池のリサイクルについてのお願い

リチウムイオン充電池には、貴重な資源を使用しています。
また充電池には寿命があります。十分に充電しているにも関わらず点灯時間が短くなった時は、ソーラーユニットを廃棄せず、また充電池をソーラーユニットから取り出さずに、ソーラーユニットの端子部カバー内にある電源スイッチをOFFにした状態で、２８ページに記載の弊社連絡先までお問い合わせください。
電気店などに設置してある「小形充電池式リサイクルＢＯＸ」では回収できません。

ソーラーユニットのバッテリーボックスの交換

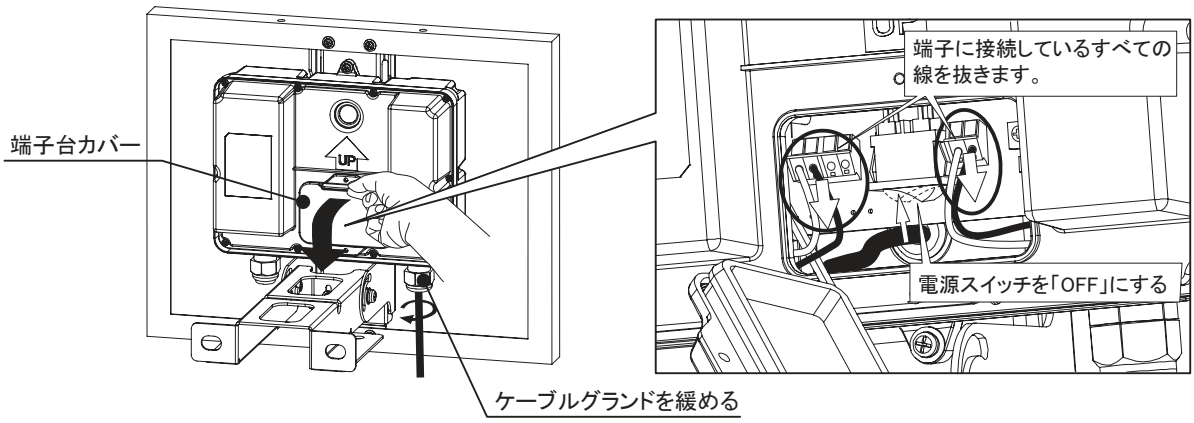
バッテリーには寿命があります。充電しても点灯しなくなったり、点灯する時間が短くなりましたら、交換用のバッテリーボックス SBB-LTO6000（別売）をお買い求め頂き、下記の手順でバッテリーボックスを交換してください。
使用条件により寿命は異なりますが、内蔵バッテリーの期待寿命は15年を想定しています。
長期でご利用の場合は、照明部の劣化等の可能性もありますので、弊社連絡先までお問い合わせください。

警告

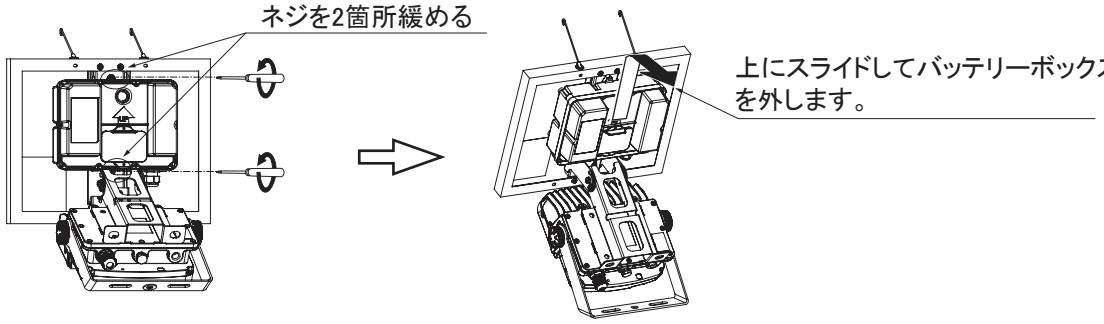
分解・改造の禁止	分解・改造は、危険ですのでおやめください。ソーラーユニットに内蔵されているバッテリーには危険を防止する保護機構が組み込まれており、保護機構が改造・分解により破損すると、バッテリーが発熱、破損発火、火災、感電の原因になります。
交換後のバッテリーボックスの廃棄	使い終わったバッテリーボックスは、一般家庭ごみとして廃棄しないでください。一般家庭ごみで廃棄するとバッテリーボックスに内蔵されているリチウムイオン充電池がごみ収集車内などで破壊されてショートに至り、発火、発煙の原因になります。バッテリーをバッテリーボックスから取り出さずに、バッテリーボックスの端子部カバー内にある電源スイッチをOFFにした状態で、28ページに記載の弊社連絡先までお問い合わせください。電気店などに設置してある「小形充電池式リサイクルBOX」では回収できません。

バッテリーボックスの交換方法

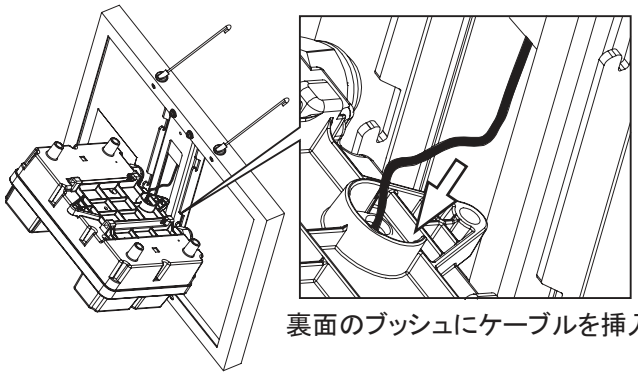
1 ソーラーユニットの端子台カバーを外して電源スイッチを「OFF」にして、端子に接続しているすべてのケーブルを抜きます。その後、使用しているケーブルグランドを緩めます。



2 上下2箇所のネジを緩めて外し、使用済みのバッテリーボックスを外します。

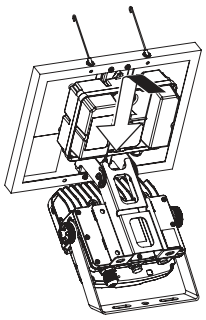


3 新しいバッテリーボックス SBB-LTO6000（別売）の裏面のブッシュに、ソーラーパネルのケーブル線を挿入します。

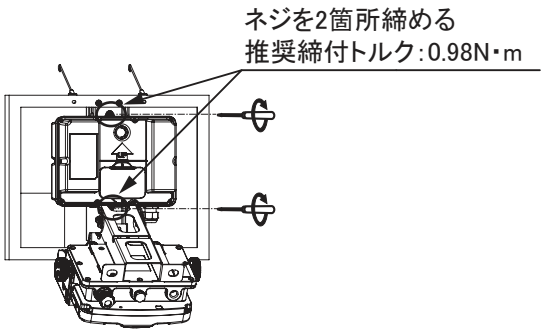


裏面のブッシュにケーブルを挿入します。

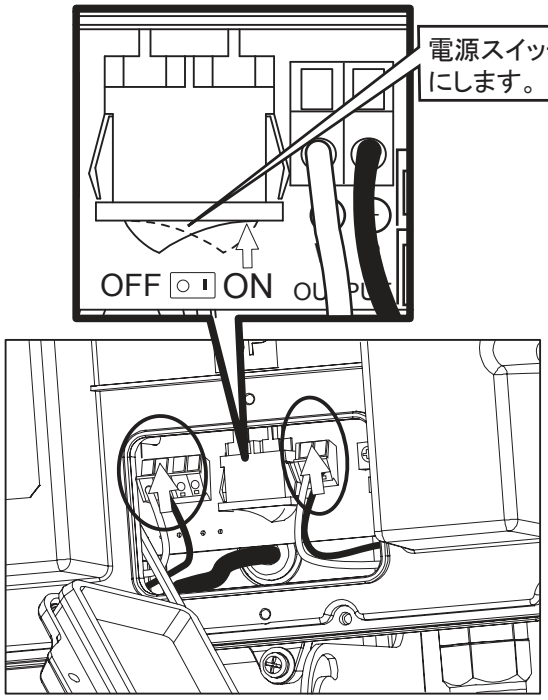
4 バッテリーボックスを取付金具に取り付けます。
上下 2箇所のネジを締めます。　推奨締付トルク:0.98N・m



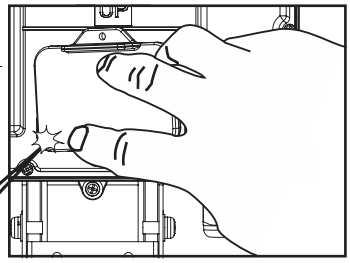
下にスライドしてバッテリーボックス
を取り付けます。



5 交換前に使用していた端子に交換前のとおりに配線します。
配線が正しいことを確認したのち、電源スイッチを「ON」にします。



6 バッテリーボックスに端子台カバーをはめます。



端子台カバーを取り付ける場合は、左下側を挿入し
その後、4隅および全周を確実にはめこんでください。
取り付けた後、全周が浮きがなく平らな状態で確実に
はめ込まれていることを確認してください。はめ込みに
不備があると、バッテリーボックス内部に浸水し、
故障の原因になります。

4「おかしいな…」と思ったら

動作表示灯（赤色LED）とLEDライトの見かた

動作表示灯（赤色LED）とLEDライトの点灯/消灯によって、動作の状態がわかります。

動作表示灯	LEDライト	動作の状態
ゆっくり点滅	消灯	電源投入時（ウォームアップ時約1分）
消灯	動作設定により異なる	人感センサ待機時
点灯	点灯	照度センサが夜と判定している時に人感センサで検知した状態

※動作表示灯は周囲が明るいときに見えにくい場合があります。

思ったように動作しないときは

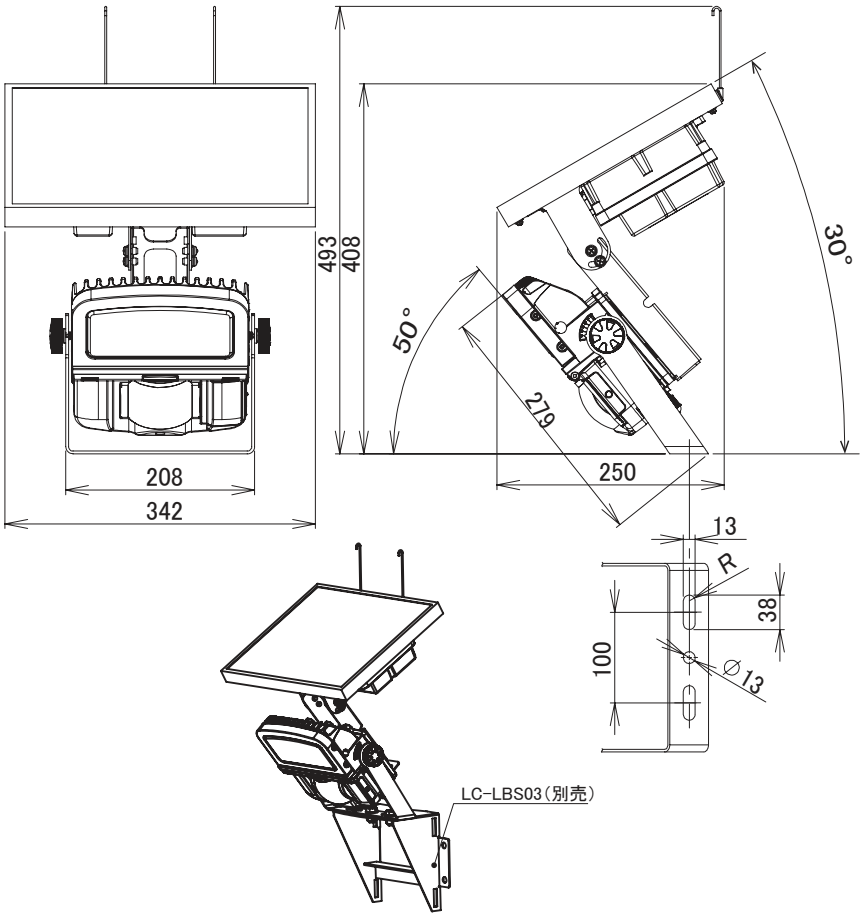
症状	原因	対策
電源を入れてしばらくたってもLEDライトが点灯しない。	ウォームアップ中である。	約1分間お待ちください。
	周囲が明るい。	昼夜判別センサが昼判定時は、LEDライトは点灯しません。
	ソーラーユニットの照明部電源スイッチが「切」になっている。	ソーラーユニットの照明部電源スイッチを「入」にしてください。
	ソーラーユニットの設置位置が適した場所、方角に設置されておらずバッテリーの充電量が足りない。	ソーラーユニットをより日光が当たるところに設置してください。詳しくは15ページ「ソーラーユニットの設置について」を参照してください。バッテリー残量はバッテリー残量チェックボタンで確認できます。詳しくは9ページ「バッテリー残量チェックボタン」を参照してください。
	バッテリーの寿命である。	バッテリーボックスを新しいものに交換してください。交換方法は、22、23ページ「ソーラーユニットのバッテリーボックスの交換」を参照してください。
人がいるのにLEDライトが暗くなったり、消灯する。	人が動いていない。	検知エリア内に人がいても動かないと点灯しないことがあります。再度動くと点灯します。
	検知エリアの前にガラスなどの遮蔽物がある。	人感センサの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。検知範囲の調整または取付場所を変更してください。
	検知感度が低い。	検知エリアを調整しても、調光動作点灯しない場合は8ページの「検知感度の設定変更」を参照し、検知感度を変更してください。
	100%点灯の時間が短い。	タイマー設定スイッチで、100%点灯の時間を長くしてください。詳しくは8ページ「タイマーの設定変更」を参照してください。
	検知エリア内に人が入っていない。	検知エリアを調整してください。
人がいないのにLEDライトが明るくなる。	検知エリア内に木や旗など動く物がある。	動く物があると、検知して点灯することがあります。詳しくは4ページ「人感センサ（パッシブインフラレッド方式）の検知原理とご使用にあたって」を参照してください。動く物を取り除くか取付場所を変更してください。
	検知エリア内に熱源や風を出す物がある。	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物（ヒーターやクーラーの室外機換気扇等）があると点灯することがあります。障害物を取り除くか取付場所を変更してください。
	検知エリアの延長線上に動く物がある。	自動車などが検知エリアの延長線上を通過すると検知することがあります。また周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。詳しくは4ページ「人感センサ（パッシブインフラレッド方式）の検知原理とご使用にあたって」を参照してください。
	検知感度が高すぎる。	検知エリアを調整しても、人がいないのにLEDライトが明るくなる場合は、8ページの「検知感度の設定変更」を参照し、検知感度を変更してください。
	検知エリアが広すぎる。	人感センサ用検知エリアマスキングプレートを使用してください。詳しくは19ページの「人感センサ用検知エリアマスキングプレートによるエリア設定」を参照してください。
LEDライトが設定どおりの明るさで点灯しない。または消灯する場合がある。	バッテリーセービング機能が働いている。	バッテリーセービング機能は、バッテリー残量により自動的にLEDライトの明るさを変える機能です。LEDライトの明るさが設定と異なった明るさになりますが、より長くLEDライトを点灯させる省電力運転機能ですので、安心してお使いください。 バッテリーセービング機能は、バッテリーが、 ●少し減ったとき：待機時、人検知時の明るさが設定より少し暗くなります。（フラッシングモードを除く） ●さらに減ったとき：人検知時の明るさはさらに暗くなり、待機時は消灯します。（フラッシングモードを除く） ●無くなったとき：点灯動作しません。 なお、人感センサによるLEDライトの点灯回数が多く、バッテリーセービング機能が頻繁に働き、使用用途に合わない場合は、以下の方法をご検討ください。 ●タイマー設定スイッチを変更する。 タイマー設定が10秒の場合、3秒に変更してください。 詳しくは8ページ「タイマーの設定変更」を参照してください。 ●使用を一旦中断し、再充電する。 使用を一旦中断して、再充電してから再度使用してください。詳しくは、7ページ「設置後の充電について」を参照してください。 ●ソーラーパネルを増設する。 本製品には、オプションのソーラーパネルを1枚増設することができます。 増設ソーラーパネルSP-10W（別売）をご購入頂き、増設してください。 増設の方法は、増設ソーラーパネル　SP-10W（別売）の取扱説明書を参照してください。

■仕様

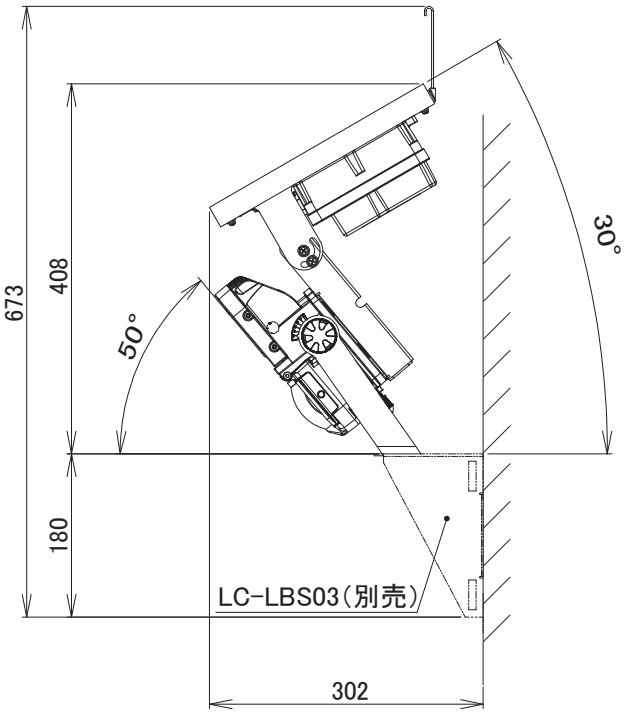
	型式	LC-1000SC90DSOL	LC-1000SC90DCSOL(BL) （寒冷地仕様）	LC-1000SWDCSOL(BL) （寒冷地仕様）
全体	本体色	黒		
	電源	専用ソーラーユニット （10Wソーラーパネル、14.4V 6000mAh チタン酸リチウムイオン充電池 内蔵）		
	消費電力	11W		
	光源	白色LED(クールホワイト)		
	照射角度	90° サークル		120° x 60° ワイドエリア
	色温度(CCT)	5650～6300K		
	演色性(CRI)	70		
	器具光束	1000lm		
	使用温度範囲	-20℃～+50℃ 充電時:0℃～+50℃ （結露および氷結なきこと）	-20℃～+55℃（結露および氷結なきこと） 充電時:-20℃～＋55℃ ※寒冷地ではソーラーパネル2枚使用を推奨します。	
	保存温度範囲	-25℃～＋60℃（半年以上保存する場合:-25℃～＋25℃）		
	使用湿度範囲	35～85%RH/保存時35～95%RH		
	保護構造	IP65（防塵・防噴流形）		
	バッテリー期待寿命	約8年（使用環境により異なる）	約15年（使用環境により異なる）	
	接続ケーブル	ビニルキャブタイヤケーブル（VCT） 口出し線長さ約 1.5m		
	延長用ケーブル	太さ:0.5～0.75㎟（AWG18～20）、配線長:15m以下 （推奨ケーブル） キャブタイヤケーブル 2PNCT 0.75㎟ 2芯 耐候性、防水性能のある、ケーブルをご準備ください。		
	外形寸法 （単体寸法）	本体:幅 243mm x 高さ 280mm x 奥行き 98mm ソーラーユニット:幅 342mm x 高さ 290mm x 奥行き 275mm（鳥除け針部含む）		
	質量	7.5kg		
	材質	アルミダイカスト、ポリカーボネート、高密度ポリエチレン、ステンレス(SUS304)		
	設置場所	屋外ポール、壁面		
	耐風速	60m/s （JIS C8105-2-3準拠）		
	耐塩害	耐塩仕様		
	動作表示灯 （赤色LED）	電源投入時（ウォームアップ時）:ゆっくり点滅 待機時:消灯 検知時（夜間）:点灯		
	動作設定	【待機 0%】 人感センサ 待機時:消灯、検知時:100%で点灯 【待機 5% 16時間】 ・昼夜判別センサで夜と判定し、点灯開始してから16時間以内 人感センサ 待機時:5%点灯、検知時:70%で点灯 ・14時間以後、昼夜判別センサで朝と判定し消灯するまで 人感センサ 待機時:消灯、検知時:70%で点灯 【待機 10% 14時間】 ・昼夜判別センサで夜と判定し、点灯開始してから14時間以内 人感センサ 待機時:10%点灯、検知時:70%で点灯 ・14時間以後、昼夜判別センサで朝と判定し消灯するまで 人感センサ 待機時:消灯、検知時:70%で点灯 【フラッシング】 人感センサ 待機時:消灯、検知時:フラッシング点灯		
	バッテリーセービング機能	バッテリー残量に応じて、待機時照度、人検知時照度を自動調節		
人感センサ	タイマー	10秒/3秒/テスト（1秒） 切替		
	調整可動範囲	上下50° 可変		
	検知エリア水平角度	150° 80°（検知エリアマスキングプレート装着時）		
	検知方法	パッシブインフラレッド方式		
	検知ゾーン数	84本		
	検知感度	低/中/高 切替		
	付帯機能	温度補償回路（周囲温度に応じて検知感度を自動調整）		
昼夜判別センサ	昼夜判別	40 ～ 400 lx （オープンエリアにて）		
付属品		人感センサ用検知エリアマスキングプレート x1、昼夜判別センサ目隠しシール x1 取付ボルトM8x18 x4、鳥除け針 x2、鳥除け針取付ブッシュ x2、取扱説明書(本書、保証書付き)		

■外形寸法図・取り付け例

本体取付角度50°　ソーラーユニット取付角度 30°　の場合

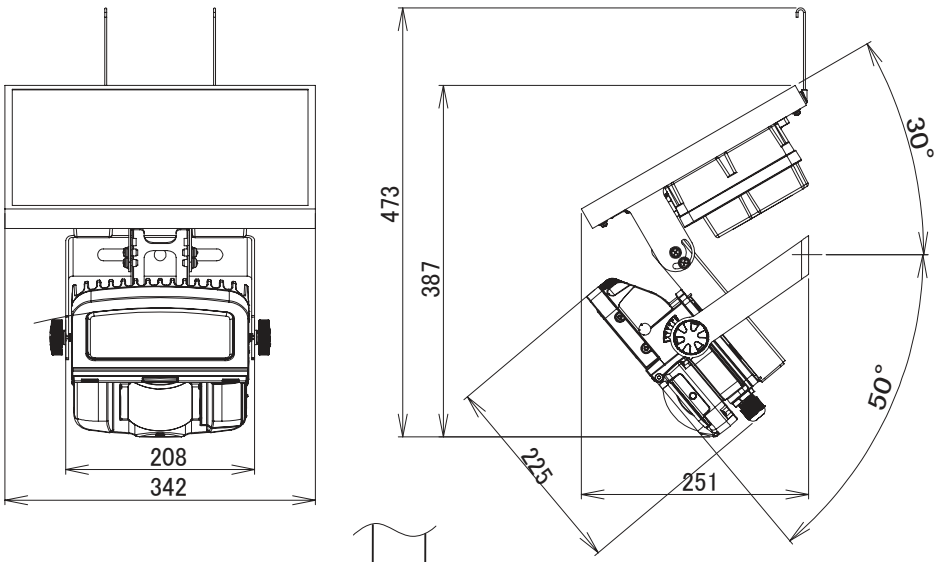


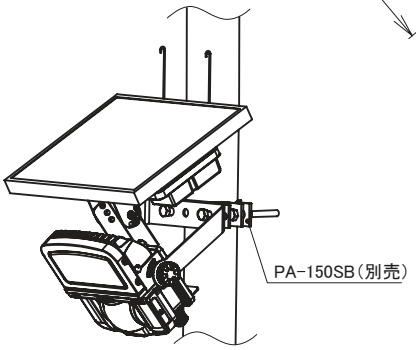
壁取り付け例
LC-LBS03（別売）使用



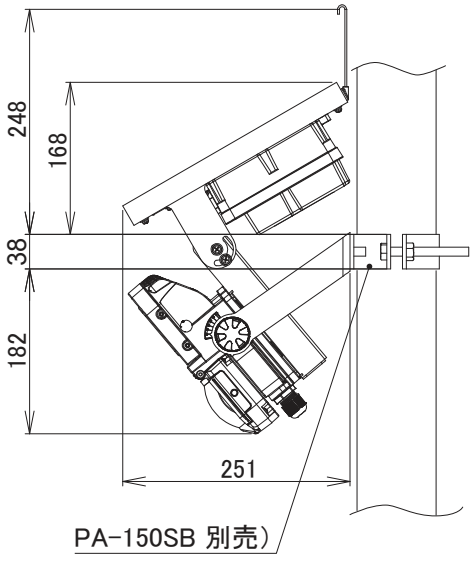
単位[mm]

本体取付角度 50°　ソーラーユニット取付角度 30°　の場合



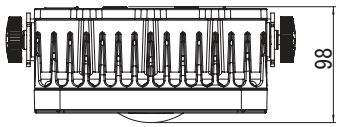


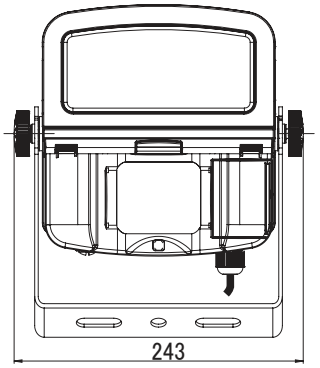
ポール取り付け例
PA-150SB(別売) 使用

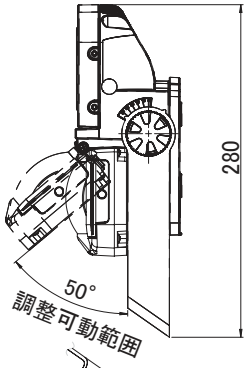


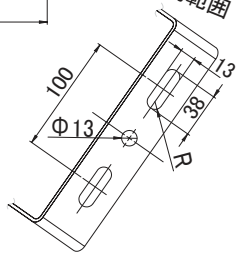
単位[mm]

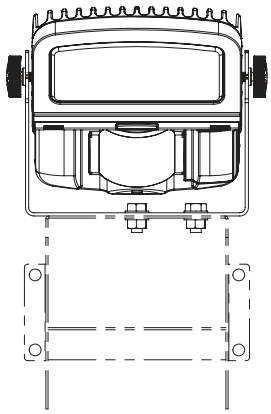
本体

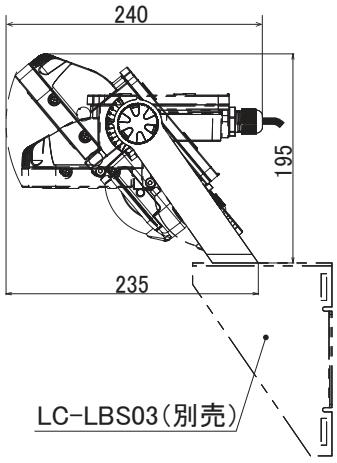


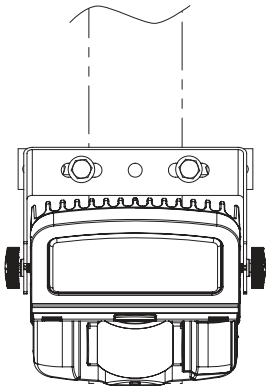


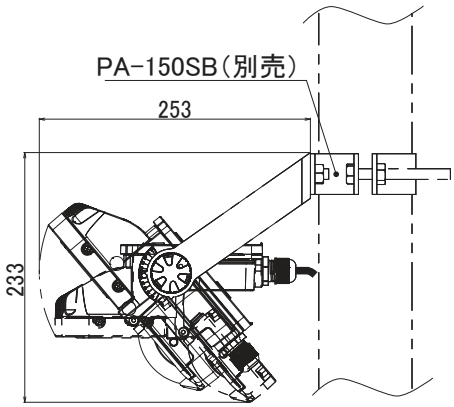






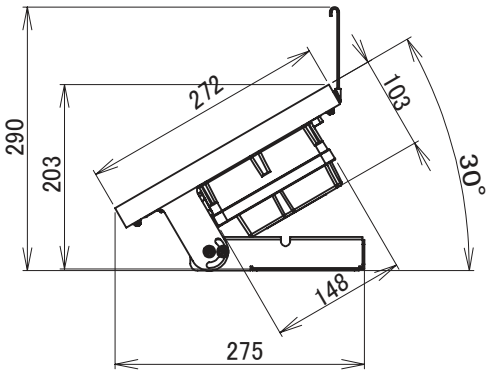


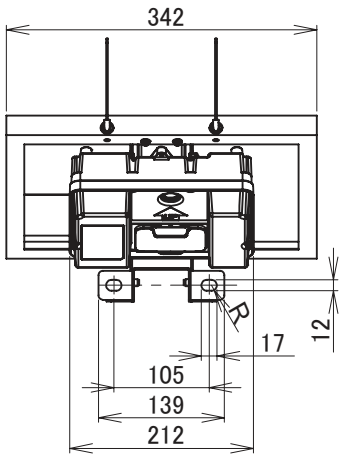


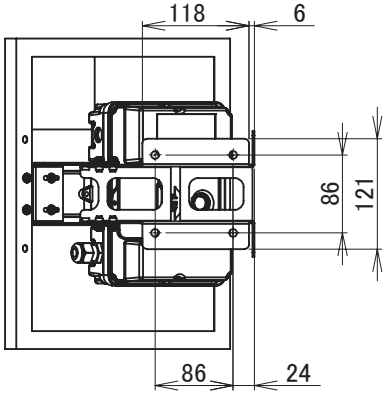


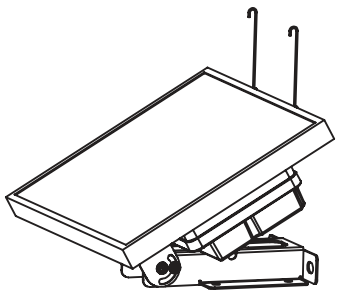
単位[mm]

ソーラーユニット









単位[mm]

LC-1000SC90DSOL
LC-1000SC90DCSOL(BL)

保証書

LC-1000SWDCSOL(BL)

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		お買い上げ日より2年間
販売店名	住　所	〒　TEL.
	店　名	
お客様	ご住所	〒　TEL.
	お名前	様

見本

・太字枠内はお買上げ時に必ず記入を受けて下さい。
・記入なき場合、本書は無効となります。
・本書は大切に保管して下さい。再発行はいたしません。
・この保証書にご記入いただきました個人情報につきましては、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。
・この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

<保証規定>

Ⅰ.保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2、この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。
This warranty is valid only for Japan.

Ⅱ.保証の条件

次に該当する故障は、保証期間中（お買い上げ日より2年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破傷。
3. 本書に必要事項の記入がない場合、また本書と該当製品の提示がない場合。

＜連絡先＞

オプテックス株式会社

本　　社：〒520-0101　滋賀県大津市雄琴５丁目８番１２号
TEL (077)579-8630　FAX(077)579-8170
東京営業所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1　新宿グリーンタワービル19F
TEL (03)3344-5775　FAX(03)3344-5734
http://www.optex.co.jp/

15 06 5920096